AXIS 5600+ & 5400+ 補足資料

(第2版)

アクシスコミュニケーションズ株式会社

R2.0

目次

1 はじめに	1
1.1 商標について	1
2 AXIS NetPilot • AXIS Print Monitor	3
2.1 インストール	
2.2 インストールの開始	4
2.3 アンインストール	
3 AXIS NetPilot の使い方	11
3.1 AXIS NetPilot の起動	
3.2 画面構成と各メニュー	
3.2.1 ファイルメニュー	
3.2.2 セットアップメニュー	
3.2.3 表示メニュー	
3.2.4 ツールバー	
3.3 Axis プリントサーバのインストール(設定)	
3.4 ネットワーク環境の変更	
3.4.1 NetWare 環境の変更	
3.4.1.1 プリントキューの接続(プリントサーバモード)	
3.4.1.2 プリントキューの接続(リモートプリンタモード)	
3.4.1.3 リモートプリンタモード (NetWare 4.1xJ・バインダリ接続)	
3.4.1.4 バナータイプの変更	
3.4.2 Windows、OS/2 環境の変更	
3.4.3 AppleTalk 環境の変更	
3.5 プロパティページ	
3.5.1 一般プロパティ	39
3.5.2 NetWare プロパティ	40
3.5.3 Windows、OS/2 プロパティ	
3.5.4 AppleTalk プロパティ	
3.5.5 TCP/IP プロパティ	
3.5.6 論理プリンタプロパティ	
3.5.7 ILPT1/LPT2/COM1 プロパティ	
3.6 プリントサーバフォルダの作成	49
3.7 プリンタの監視	51
3.8 その他の機能	54
3.8.1 パラメータリストエディタ	54
3.8.2 概要ウィンドウ	55
3.8.3 プリントジョブウィンドウ	56
4 AXIS Print Utility for OS/2	59
4.1 インストール	59
42 インストールの開始	60
43アンインストール	
4 4 AXIS Print Utility for OS/2 の使い方	
4.4.1 画面構成と各メニュー	62

5 axinstall(UNIX 填填での設定)	65
5.1 axinstall による自動設定	
5.1.1 BSD 系 UNIX の自動設定	
5.1.2 System V 系 UNIX の自動設定	
5.2 日本語 UNIX 環境での設定(手動設定)	
5.2.1 AIX 4.x	
5.2.2 HP-UX 10.xx	
5.2.3 Solaris 2.6	
0 问起胜沃	
 の回想解次 	
 6.1 LED (インディケータ)を利用した問題の切り分け 6.2 NetWare 環境 	
 6.1 LED (インディケータ)を利用した問題の切り分け 6.2 NetWare 環境 6.3 Windows 環境 	
 6.1 LED (インディケータ)を利用した問題の切り分け 6.2 NetWare 環境 6.3 Windows 環境 6.4 OS/2 環境 	
 6.1 LED (インディケータ)を利用した問題の切り分け 6.2 NetWare 環境 6.3 Windows 環境 6.4 OS/2 環境 6.5 Macintosh 環境 	93 93 93 93 95 95 98 99
 6.1 LED (インディケータ)を利用した問題の切り分け 6.2 NetWare 環境 6.3 Windows 環境 6.4 OS/2 環境 6.5 Macintosh 環境 6.6 UNIX 環境 	

1. はじめに

この冊子では、付属の CD-ROM に含まれるユーティリティのイン ストール方法や、他のマニュアルに記載されていない内容などが説 明されています。インストールする前に必ずお読みください。 この冊子では、特別に記載がない限り、AXIS NetPilot(v2.63J)、 AXIS Print Monitor(v3.011J)、AXIS Print Utility for OS/2(v1.16)お よび axinstall(1.8.3)に適用されます。

1.1. 商標について

AIX、Apple、DOS、EtherTalk、Ethernet、HP、HP JetAdmin、IBM、 LAN Server、Macintosh、Microsoft、Novell NetWare、OS/2、PostScript、 UNIX、Windows は、各社の登録商標または商標です。その他、本 冊子に記載のプログラム、パソコン、規格などの商品名、製品名は 一般的に各社の登録商標または商標です。

AXIS 5600+ & 5400+ 補足資料(第2版) Copyright(C) アクシスコミュニケーションズ株式会社 2003 年 6 月 はじめに

2. AXIS NetPilot • AXIS Print Monitor

「AXIS NetPilot」をインストール(使用)するためには、IPX、また は NetBEUI プロトコルの組み込まれた Windows 環境(Windows 95、 Windows 98、Windows Me、Windows NT) が必要です。また、「AXIS Print Monitor レをインストール(使用) するためには NetBEUI、ま たはTCP/IP プロトコルの組み込まれた Windows 環境(Windows 95、 Windows 98、Windows Me) が必要です。「AXIS Print Monitor」はWindows 95、Windows 98、Windows Me (ピアツーピア) 専用のユー ティリティです。

2.1. インストール

ンストール

インストール方法は以下の手順にしたがって行なってください。 以下の例では PC/AT 互換 (DOS/V) 機上の Windows Me 環境に 「AXIS NetPilot」、「AXIS Print Monitor」をインストールします。

注意: すでに前のバージョンの「AXIS Print Monitor」をインストールしてい る場合は、まず使用中の「AXIS Print Monitor」を削除し、そのあと新しい 「AXIS Print Monitor」をインストールしてください。「AXIS Print Monitor」の 削除は「コントロールパネル」の中の「アプリケーションの追加と削除」から 行なうことができます。

- 標準インストー インストール方法は、以下の2種類です。
- ルとカスタムイ 「標準」インストールでは「AXIS Print Monitor」のみインストー • ルされます。一般ユーザの PC にインストールする場合は、「標 準| インストールを選択します。(「標準インストールではイン ストール先ディレクトリなどの選択はできません。)
 - 「カスタム」インストールでは「AXIS NetPilot」、および「AXIS Print Monitor」の各ユーティリティを必要に応じてインストー ルすることができます。「カスタム」インストールではインス トールするディレクトリ、スタートメニュープログラムグルー プを選択することもできます。

2.2. インストールの開始

- 1. まずはじめに、CD-ROM ドライブに CD-ROM を挿入します。
- 「スタート」ボタンをクリックし、次に「ファイル名を指定し て実行」をクリックすると、次のダイアログボックスが表示さ れます。

ファイル名を	指定して実行 ?
2	実行するプログラム名、フォルダ名、ドキュメント名、またはインターネットリソース名を入力してください。
名前(<u>O</u>):	D:¥Software¥pm_np¥pm3011j.exe 🗨
	<u> </u>

- 3. 「名前:」ボックスに「D:¥software¥pm_np¥pm3011j.exe」と入 力します。ここで、「D」は、お使いの CD-ROM ドライブに割 り当てられている文字に置き換えてください。
- 4. 「OK」ボタンをクリックします。セットアッププログラムが起 動します。
- 5. 「ようこそ」ダイアログの内容を確認し、「次へ」ボタンをク リックします。



「どちらのインストールをしますか?」ダイアログボックスでは、「標準」インストール、または「カスタム」インストールを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。(デフォルトは「標準」インストールです。)この例では「カスタム」インストールを選択します。

AXIS ユーティリティのインストール	×
	どちらのインストールをしますか?
	○ 標準 最も一般的なオフジョンを使い AXIS Print Monitor 3:011 をクレストールします。(あな たがシステム管理者やネットワーク管理者で はない)場合はこちらを選んでください。) テフォルトオフジョンを確認するには次へを 押してください。
▓┯┸⋓₡	⑦ 加スタム AXIS Print Monitor 3.011、AXIS NetPilot 2.63 を行くたールします。 インストールするユーティリティ、インストール ディルクトリ、スタートメニュー フログラム グループを 選択できます。 インストールの進行の詳細も提供されます。
	続けるには、次へを押してください。
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル(<u>C</u>)

「インストール済みのコンポーネント」ダイアログでは、既存の「AXIS NetPilot」、「AXIS Print Monitor」、「AXIS Print Utility for Windows」を検出します。「AXIS Print Monitor」、および「AXIS Print Utility for Windows」が検出された場合は、一度インストールを終了し、既存のユーティリティを削除してから、再度インストールしてください。



 「コンポーネントの選択」ダイアログボックス(カスタムイン ストールのみ)では、インストールするユーティリティを選択 します。ダイアログの内容を確認し、必要なユーティリティを 選択し、「次へ」ボタンをクリックします。この例では、「AXIS NetPilot」、および「AXIS Print Monitor」をそれぞれ選択してい ます。

AXIS ユーティリティのインストール		×
	コンポーネントの	の選択
	AXIS Print Monitor 3.011 - 印刷 ネットワーク フリンタへ 直接印刷する;	ユーティリティ ために使います。
	AXIS NetPilot 2.63 - 管理者用ウ AXIS ネットワーク フリント サーバを設 います。	トル 定・管理するために使
	下のボックスをチェックしてインストールす を選んでください。	るコンホペーネント
	🔽 AXIS Print Monitor 3.011	1353 k
\$7++ ₽ ♦	AXIS NetPilot 2.63	2999 k
	必要なテネスク容量: テネスク容量の残り:	4352 k 339168 k
	< 戻る(B) (次へ(N)>	======================================

 「インストールディレクトリの選択」ダイアログでは、ユーティ リティをインストールするディレクトリを確認し、「次へ」ボ タンをクリックします。「ブラウズ」ボタンをクリックして、イ ンストールするディレクトリを変更することも可能です。

AXIS ユーティリティのインストール	×
	インストールディレクトリの選択
	AXIS ユーティリティは以下のティレクトリにインストールされます。 違うティーレクトリやトライフリこインストールする場合はフラウズ 赤空ンを押してください。
	C:¥Program Files¥AXIS ユーティリティブラウス [、] な)
Ѿ҉ҭ҈+ฃ�	
	〈 戻る(四) (次へ(N)) キャンセル(の)

10.「スタート」メニューに登録するグループを設定し、「次へ」ボ タンをクリックします。



 「インストールの準備ができました」ダイアログでは、各ダイ アログで設定したインストール情報を確認します。インストー ルする場合は、「インストール」ボタンをクリックします。イ ンストール情報を再入力する場合は、「戻る」ボタンをクリッ クします。

AXIS ユーティリティのインストール	×
	インストール準備ができました!
	AXIS ユーティリティをインストールする準備ができました。
	インストールを始めるにはインストール ボタンを押してくださ い。あるいはインストール 情報を再入力する 場合は戻 るボタンを押してください。
\sim	イソストールするコンキ*ーネント:
	AXIS Print Monitor 3.011 AXIS NetPilot 2.63
	インストール デネルクトリン
N	"C:¥Program Files¥AXIS ユーティリティ"
\sim	スタート メニュー フプログラム クプルーフキ:
	AXIS ユーティリティ
	〈 戻る(图) 【シストールの〉】 キャンセル(の)

12. インストールが正常に終了すると「インストールが正常に完了 しました」ダイアログが表示されます。「閉じる」ボタンをク リックしてインストール作業を終了します。



2.3. アンインストール

- 1. 「AXIS NetPilot」、および「AXIS Print Monitor」をアンインス トールするためには、「コントロールパネル」の中の「アプリ ケーションの追加と削除」をダブルクリックします。
- 「アプリケーションの追加と削除」ダイアログが表示されます。
 「AXIS NetPilot」、または「AXIS Print Monitor」を選択し、「追加と削除」ボタンをクリックします。
- 3. 表示されるダイアログで、「Automatic」を選択し、「Next」ボタ ンをクリックします。この例では、「AXIS NetPilot」を選択し ています。

×
Select Uninstall Method
Welcome to the AXIS NetPilot uninstall program.
You can choose to automatically uninstall this software or to choose exactly which changes are made to your system.
Select the Custom button to select which modifications are to be made during the uninstall. Select the Automatic button for the default uninstall options. Press the Next button to continue.
C <u>C</u> ustom
< Back Next > Cancel

4. 最後に「Finish」ボタンをクリックして、アンインストールを 開始します。



3.AXIS NetPilot の使い方

「AXIS NetPilot」では Axis プリントサーバのインストールと管理を 行なうことができます。

3.1.AXIS NetPilot の起動

「スタート」ボタンをクリックし、メニューの「プログラム」-「AXIS ユーティリティ」-「NetPilot」-「AXIS NetPilot」を選択 します。

🗧 AXIS NetPilot			_ 🗆 🗵
ファイル(E) セットアップ(S) 表示(V) ヘルプ(H)		
→ ネットワーウ プロパディ 概要 パンストー	· -ル 新がループ 追加	◎ 監視	? ^///7*
未設定 AXIS フツント サーバ	開いているフォルタジ'未設定	E AXIS フリントサーハ	
📮 💼 AXIS プリント サーバ	🐻 AXIS181343	AXIS BT-840	
	🛯 🖉 AXIS38A032	AXIS 5400	
────────────────────────────────────	🐻 AXIS3A 403F	AXIS 5600	
	🚳 AXIS3A4041	AXIS 5600	
	🕼 AXIS3EB172	AXIS 1610	
	🕼 AXIS3EB53B	AXIS 1610	
	🔞 AXIS3EB67A	AXIS 1610	
	🚳 AXIS5556A3	AXIS 5600+	
	SCANONLBP-850	AXIS 540+/542+	
	🛯 CLW1200	AXIS 5400	
	🔲 DP200AX	AXIS 5400+	
へルプを見るには、F1 キーを押し	てください。		

3.2. 画面構成と各メニュー

メインウィンドウの左側は、まだインストールしていない新しい Axis プリントサーバ(「未設定 Axis プリントサーバ」フォルダ)、すでにインストールした Axis プリントサーバ(「設定済プリントサーバ」フォルダ)の両方を含む「AXIS プリントサーバフォルダと、監視するプリンタを含む監視対象プリンタ」フォルダを表示します。これらのフォルダは、ダブルクリックするか、「+」、「ー」ボックスをクリックすることにより開いたり、閉じたりします。

 メインウィンドウの右側は、左側の各フォルダに属する Axis プリントサーバ、またはプリンタを表示します。Axis プリント サーバの操作をする場合は、対象となるプリントサーバアイコ ンをクリックし、「ファイル」メニュー、ツールバー、「ポップ アップ」メニューから必要な操作を行ないます。

- ・ 淡色表示されたプリントサーバは、プリントサーバとの接続が 失われたこと、例えばプリントサーバがネットワークから切断 されたことを示します。メインウィンドウからプリントサーバ の表示を消したい場合は、そのアイコンを選択し、「ファイル」 メニューのなかの「オブジェクトの削除」を選択します。
- 使用例1 「インストレーションウィザード」を利用して新しい Axis プリント サーバをインストールする。
 - 1. 「未設定 AXIS プリントサーバ」フォルダを表示します。
 - 2. 「未設定 AXIS プリントサーバ」フォルダをクリックし、インス トールする Axis プリントサーバの名前 (AXISnnnnn) をクリッ クします。
 - 3. 「セットアップ」メニューの「インストール」、ツールバーの 「インストール」ボタン、まはた Axis プリントサーバをクリッ クしてから、マウスの右ボタンをクリックし、「ポップアップ」 メニューから「インストール」のいずれかを選択します。
- **使用例2** 「プロパティページ」を使用して Axis プリントサーバの設定を変更 する。
 - 1. 「設定済プリントサーバ」フォルダを表示します。
 - 「設定済プリントサーバ」フォルダをクリックし、設定を変更 したい Axis プリントサーバの名前(AXISnnnnn)をクリック します。複数台の Axis プリントサーバの同じパラメータを1 度に変更することもできます。
 - 3. 「セットアップ」メニューの「プロパティ」、ツールバーの「プ ロパティ」ボタン、まはた Axis プリントサーバをクリックし てから、マウスの右ボタンをクリックし、「ポップアップ」メ ニューから「プロパティ」のいずれかを選択します。

注意: nnnnnn はプリントサーバのシリアル番号の下6桁の英数字です。

3.2.1. ファイルメニュー

「ファイル」メニューには以下のオプションが含まれます。これら のオプションは、ツールバー、「ポップアップ」メニューからも利 用できます。

オプション名	機能
概要	選択したプリントサーバの「概要」ウィ ンドウを表示します。

プリントジョブ	最後の 10 個のプリントジョブの状態を表 示する「プリントジョブ」ウィンドウを 表示します。
プリンタ情報	選択したプリンタの「プリンタ情報」ウィ ンドウを表示します。
新しいプリントサー バグループ	「AXIS プリントサーバ」フォルダにプリ ンタグループを追加します。
プリントサーバの追 加	選択したプリントサーバグループにプリ ントサーバを追加します。
新しいプリンタグ ループ	監視対象プリンタフォルダにプリンタグ ループを追加します。
プリンタの追加	選択した「プリンタ監視グループ」にプ リンタを追加します。
監視	選択したプリンタグループ用の独立した 「監視」ウィンドウを表示します。
名前の変更	選択したプリントサーバの名前を変更し ます。
再起動	選択したプリントサーバを再起動しま す。(電源の OFF/ON と同じです。)
オブジェクトの削除	プリンタ監視グループから、選択したプ リンタを削除します。
グループの削除	選択したプリンタ監視グループを削除し ます。グループは空でなければなりませ ん。グループの各プリンタを選択し、グ ループが空になるまで「オブジェクトの 削除」オプションを使用し、「グループ」 フォルダを選択して「グループの削除」オ プションを使用します。
終了	NetPilot を終了します。変更した設定パラ メータはプリントサーバに保管されま す。

3.2.2. セットアップメニュー

「セットアップ」メニューには以下のオプションが含まれます。これらのオプションは、ツールバー、「ポップアップ」メニューからも利用できます。

オプション名	機能
ネットワーク	選択した Axis プリントサーバの各ネット ワーク環境内での設定を変更します。
プロパティ	選択した Axis プリントサーバの設定を変 更します。
インストール	選択した Axis プリントサーバのインス トールを開始します。事前に他の方法で 設定したパラメータの値は「インスト レーションウィザード」の中で反映され ます。
アンインストール	選択した Axis プリントサーバのパラメー タ設定を工場出荷時の状態に戻します。 また、NetWare 環境下ではプリントキュー との接続も解除します。(リモートプリン タキューを除く)Axis プリントサーバは 「未設定 AXIS プリントサーバ」フォルダ に移動します。「アンインストール」オプ ション実行後、再インストールせずに元 の状態に戻すことはできません。
アップグレード	新しい Axis プリントサーバ・ソフトウェ アを使用して、1つ、または複数の Axis プリントサーバのアップグレードを行な います。 アップグレード機能を利用するためには IPX/SPX プロトコルが必要です。
パラメータリストの 編集	パラメータリストエディタを起動しま す。このエディタを使用してすべてのプ リントサーバのパラメータを編集し、プ リントサーバへアップロードすることが できます。また、パラメータリストをファ イルに保存したり、一括してアップロー ドすることもできます。

3.2.3. 表示メニュー

「表示」メニューには以下のオプションが含まれます。これらのオ プションは、ツールバー、「ポップアップ」メニューからも利用で きます。

オプション名	機能
ツールバー	ツールバーの表示・非表示を切り替えま す。
ステータスバー	メインウィンドウの一番下にある情報 フィールドの表示・非表示を切り替えま す。
すべて選択	メインウィンドウの右側部分がアクティ ブのとき、表示されているすべての Axis プリントサーバを選択します。
ソート	 すべてのプリントサーバ、およびプリン タフォルダを次のようにソートします。 プリントサーバを名前、またはモデル 名でソートします。ソートするプリン トサーバフォルダをクリックし、ド ロップダウンメニューから希望する ソート方法を選択します。 プリンタを名前、状態、またはプリン トサーバでソートします。ソートする プリンタフォルダをクリックし、ド ロップダウンメニューから希望する ソート方法を選択します。 注意:起動時にNetPilotはすべてのフォル ダを自動的に名前でソートします。
リフレッシュ	ネットワーク中の Axis プリントサーバを ただちに検索します。

	1
更新間隔の設定	「更新間隔」ダイアログを使用すると、プ リントサーバとプリンタの状態を探索す
	ス時間間隔を設定することができます
	ノリントサーハの日期快楽
	• 「有効にする」チェックボックスをク
	リックして、検索の有効・無効を切り
	替えます。ネットワークの検索中は、
	PC が1秒以上ロックされます。
	 「間隔」ボックスにはプリントサーバ
	を自動検索する時間間隔(単位:秒)
	を入力します。範囲は 15 ~ 63267 秒
	(63267 秒 = 約 17 時間 34 分)です。
	プリンタの監視
	• 「間隔」ボックスはプリンタ監視情報
	の表示を更新するための時間間隔を
	入力します。範囲は5~63267秒(63267
	秒=約17時間34分)です。

3.2.4. ツールバー

ツールバーは「ファイル」、「セットアップ」、「表示」、「ヘルプ」メ ニューのすぐ下に表示されます。表示されない場合は、「表示」メ ニューの「ツールバー」オプションを選択してください。

オプション名	機能
ネットワーク	選択した Axis プリントサーバの各 ネットワーク環境内での設定を変更 します。
プロパティ	選択した Axis プリントサーバの設定 を変更します。
概要	選択した Axis プリントサーバの「概 要」ウィンドウを表示します。
インストール	選択した Axis プリントサーバについ て、「インストレーションウィザード」 を起動します。

新グループ プリントサーバの追加 プリンタの追加	プリントサーバのアイコンのついた 「新グループ」ボタン、およびプリン トサーバのアイコンのついた「新グ ループ」ボタンは、それぞれの機能が アクティブのときにのみ表示されま す。詳細は「ヘルプ」を参照してくだ さい。
監視	選択するプリンタグループ用の独立 した「監視」ウィンドウを表示します。
アップグレード	「アップグレードウィザード」を起動 します。このウィザードは、新しいプ リントサーバ・ソフトウェアを1台、 または複数台の Axis プリントサーバ ヘダウンロードするために使用しま す。 アップグレード機能を利用するため には、IPX/SPX プロトコルが必要で す。
ヘルプ	ヘルプの目次ページを表示します。

3.3.Axis プリントサーバのインストール(設定)

「インストレーションウィザード」を実行するとインストールした いネットワーク環境に新しい Axis プリントサーバを簡単にインス トールすることができます。「インストレーションウィザード」実 行後はすぐに Axis プリントサーバを使えるようになります。 Axis プリントサーバの設定を変更するために、再度「インストレー ションウィザード」を実行する必要はありません。各設定は、「セッ トアップ」メニューの「ネットワーク」、または「プロパティ」オ プションを使用して変更することができます。

以下の例では PC/AT 互換 (DOS/V) 機上に Novell 社の「Novell Client for Windows 95/98/Me Ver 3.3」をインストールした Windows Me 環 境でインストールを行ないます。

注意: NetWare 環境へ Axis プリントサーバをインストールするためには事前に ネットワーク管理者権限で NetWare 環境にログインしている必要があります。例 えば、NetWare3.xJ では「supervisor」、NetWare4.1xJ では「admin」でログイ ンします。また、「AXIS NetPilot」を実行するクライアントマシンは利用する NetWare 環境 (NDS、バインダリ) にアクセスできる必要があります。

- NetPilot の起動 1. NetPilot を起動します。必要であれば、「AXIS プリントサーバ」 フォルダをクリックして、「未設定 AXIS プリントサーバ」フォ ルダを表示します。
 - 「未設定 AXIS プリントサーバ」フォルダをクリックし、インストールする Axis プリントサーバの名前 (AXISnnnnn)をクリックします。(nnnnn は Axis プリントサーバのシリアル番号の下6桁の英数字です。)
 - 3. 「セットアップ」メニューの「インストール」、ツールバーの 「インストール」ボタン、または Axis プリントサーバをクリッ クしてから、マウスの右ボタンをクリックし、「ポップアップ」 メニューから「インストール」のいずれかを選択します。

💰 AXIS NetPilot			
ファイル(E) セットアッフ°(S) 表示(V) ヘルフ°(<u>H</u>)		
→ ネットワーウ 7℃のディ 概要 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ール 新ゲループ 追加	◎ 監視	? ^/レブ
未設定 AXIS フツント サーバ	開いているフォルタジ'未設定	(AXIS フリントサーハ	
📮 💼 AXIS プリント サーバ	🐻 AXIS181343	AXIS BT-840	
	🛯 🖉 AXIS38A032	AXIS 5400	
- 🕞 未設定 AXIS プリント サー	🐻 AXIS3A403F	AXIS 5600	
- 🛅 監視対象 プリンタ	🐻 AXIS3A4041	AXIS 5600	
	🔞 AXIS3EB172	AXIS 1610	
	🔞 AXIS3EB53B	AXIS 1610	
	🔞 AXIS3EB67A	AXIS 1610	
	🐻 AXIS5556A3	AXIS 5600+	
	SCANONLBP-850	AXIS 540+/542+	
	🛛 🕼 CLW1200	AXIS 5400	
	🛯 🖉 DP200AX	AXIS 5400+	
	てください。		

- インストールオ・その環境内ではじめて、そのAxis プリントサーバをインストープションの選択
 ルする場合は、「インストレーションウィザード」を使ってインストールする」を選択します。
 - すでに、他の方法、または他のPC上にインストールしたNetPilot でそのAxisプリントサーバを設定し、今回起動しているNetPilot にAxisプリントサーバを登録する場合は、「現在の設定を使っ てインストールする」を選択します。
 選択後、「OK」ボタンをクリックします。

インストール オフジョン	×
 (1)ストレーション ウィサートを使ってインストールする (現在の設定はすべて失われます。) 	
○現在の設定を使ってインストールする (現在の設定はそのまま残ります。)	
ОК + +уъл	

18

Axis プリントAxis プリントサーバに設定する名前を入力するか、デフォルトのサーバの名前の
設定名前「AXISnnnnn」(nnnnn はシリアル番号の下6桁の英数字)を
そのまま使用し、「次へ」ボタンをクリックします。

AXIS インストレーション ウィザード	
	AXIS インストレーンョンウィザードへようこそ。 お(使いの)ネットワークリこ AXIS 5600+ をインストールするよう選択されました。 AXIS 5600+は、マルチブロトコル ネットワーク フツント サーバです。
	AXIS 5600+ の名前は何がいいですか? <mark>AXIS5556A3</mark>
	新しい AXIS のイソストールを続けるには、次へをかりックしてください。
	<u> へんつ。</u> 〈 戻る(B) 〉次へ(M) 〉 わいれ

- この名前はユーザが Axis プリントサーバを見分けるのに使われます。また、プリンタ、プリントキューの名前の一部として使用されます。したがって、エンドユーザにとってわかりやすいように、場所や使い方を反映した名前をつけることをお勧めします。
- 設定後、NetPilot の「ファイル」メニューの「名前の変更」オ プションで名前を変更することもできます。

注意:「名前の変更」オプションではNetWare 環境でのプリントサーバ名のみが 変更されます。「Windows、OS/2 環境」、および「AppleTalk 環境」でのプリンタ 名、プリントキュー名は変更されません。

ネットワーク環 このページでは利用可能なネットワーク環境がすべて選択された 境の設定 状態で表示されます。チェックボックスの中のチェックを外すこと で、チェックを外したネットワーク環境で利用できないようにする こともできます。設定後、「次へ」ボタンをクリックします。

AXIS ብንストレーション ウィザード	×
	AXIS 5600+ をどのネットワーウ環境で印刷するために設定しますか? (特定のブローロルを無効にするには、インストール後、ブロバティを使ってください。)
	I <mark>INetWare</mark> I TCP/IP I Windows, OS/2 I AppleTalk
	〈 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- ネットワークの負荷の低減、および利用するプロトコルのパフォーマンスを増大するためにも不要なプロトコルは外すことをお勧めします。インストール終了後でも「プロパティページ」を使用して不要なプロトコルを無効にすることもできます。
- NetPilotを起動している PC に NetWare プロトコルがインストー ルされていない場合、または NetWare ファイルサーバがその ネットワーク上に存在しない場合は、「NetWare」チェックボッ クスは選択できません(淡色表示になります)。
- インストール後、その Axis プリントサーバのネットワーク環 境設定は、「ネットワーク」オプションを使用して変更するこ とができます。メインウィンドウの中の設定を変更したい Axis プリントサーバを選択し、ツールバーの「ネットワーク」ボタ ン、または「プロパティ」ボタンをクリックします。変更でき る項目は各ボタンに依存します。
- NetWare 環境 Axis プリントサーバが接続するプリントキューの場所(環境)を での設定 設定し、「次へ」ボタンをクリックします。

AXIS ብንストレーション ウィザート*	NetWare ネットワーク環境での印刷。	×
— ,	Netware キャナナ アルみ COLUMPS。 フリント サーハ・のフリンタの NetWare フリント キューをどこに置くかを選択してく ださい。 ・ NDS ツリー中	
	© パインタリ ファイル サーバ上 キューのための NetWare ファイル サーバを選択してください。 [411 FS	
	< (N) > < 戻る(B)次へ(N) > キャンセル	

各パラメータの説明

NDS ツリー中	このオプションは NDS 対応 Axis プリント サーバのインストール中に、ネットワークで NetWa4.1x が利用できる場合だけ使用できま す。このオプションを選択した場合、次の ウィザード画面で Axis プリントサーバの NDS ツリーのノードを入力する必要があり ます。
バインダリファ イルサーバ上	NetWare3.xx 環境ではこのオプションを選択 します。また、NetWare4.1x 環境下でバイン ダリサービスを利用する場合も、このオプ ションを選択します。 次に、プリントキューを作成するファイル サーバをドロップダウンリストの中から選 択します。

NetWare NDS ネットワーク環 境の設定

Axis プリントサーバを置くプリントサーバコンテキスト、Axis プ リントサーバがログインする NDS ツリー、プリントキューを置く コンテキスト、キューボリュームを置くコンテキストをそれぞれ設 定し、「次へ」ボタンをクリックします。「ブラウズ」ボタンをク リックして階層ブラウザから選択することもできます。

AXIS インストレーション ウィザード			×
	NDS ネットワーク環境での!	印刷。	
	お使いのネットワーク フツント しますか?	サーバのコンテキストと優先 NDS ツリーをと	でのように
Concession of the local division of the loca	フリント サーバ・コンテキスト:	sales.kk.com.axis	フラウス
	優先 NDS ツリー: (ヘルフを参照。)	IWTREE	
	フリント キューのコンテキストとオ	キリュームをどのようにしますか?	
	キューコンテキスト:	sales.kk.com.axis	フッラウス、
	キ ュー ホ リューム:	I411FS_VAR.tech.kk.com.axis	2522
	^ル7°	〈 戻る(胆) / 次へ(心) > /	キャンセル

各パラメータの説明

プリントサーバ コンテキスト	Axis プリントサーバを置くコンテキストを 入力します。「ブラウズ」ボタンをクリック してコンテキストを選択することも可能で す。
-------------------	---

優 先 フ ァ イ ル サーバ	ドロップダウンリストを使用して優先ファ イルサーバの名前を選択します(このファイ ルサーバ上のアカウントを1つ消費します)。 注意:このパラメータは、拡張 NDS 機能を サポートする Axis プリントサーバには表示 されません。
優先 NDS ツリー	このパラメータは拡張 NDS 機能をサポート する Axis プリントサーバだけに表示されま す。Axis プリントサーバがログインする NDS ツリーを選択します。特定のファイルサーバ にログインさせたい場合は、インストール 後、「セットアップ」メニューの「ネットワー ク」オプションで設定することができます。
キューコンテキスト	プリントキューを置くコンテキストを入力 します。「ブラウズ」ボタンをクリックして コンテキストを選択することもできます。
キューボリューム	キューボリュームを置くコンテキストを選 択します。

定

NetWare プリ Axis プリントサーバと接続させたいキューの名前を入力し、「次へ」 **ントキューの**設 ボタンをクリックします。

AXIS インストレーション ウィザート		
	NetWare ネットワーク環境	での印刷。
	お使いのフツント サーハႨ: てください。	接続する NetWare フツント キューの名前を入力し
	LPT1 上のフツンタ፡	AXIS5556A3_LPT1_Q
	LPT2 上のフツンタะ	AXIS5556A3_LPT2_Q
	COM1 上のフツンタะ	AXIS5556A3_COM1_Q
	<u>^⊮</u> 7°	〈戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- Axis プリントサーバの各機種が持つポートの数だけ、プリンタ • キューが表示されます。
- この名前はユーザがプリンタを選択するときに表示されます。 • したがって、機種やプリンタの場所などのわかりやすい名前を 設定すると便利です。
- デフォルトの名前は Axis プリントサーバ名と LPT1、LPT2、 COM1 の各プリンタポートから与えられます。
- プリントキューのフィールドをブランクのままにしておいた 場合、プリントキューは作成されません。また、「セットアッ プ」メニューなどから「ネットワーク」オプションを選択し、

「NetWare」タブを表示させても、プリントキューはプリンタ ポートに接続されていません。

- プリントキューの接続、および解除は、インストール後「セットアップ」メニュー、または「ポップアップ」メニューから行なうことができます。
- TCP/IP 環境で
 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトルータなどの設定を

 の設定
 し、「次へ」ボタンをクリックします。

AXIS ብንストレーション ウィザート	×
	TCP/IP ネットワーク環境での印刷。 どの方法を使ってお使いのフツント サーバのインターネット アトルスを取得します か? DHCP F BOOTP F RARP F 手動 インターネット関連アトルス IP アトルス: 192.168.70.183 サフドネット マスク: 0.0.0.0 デヴォルトルータ: 0.0.0.0
	〈戻る(B)次へ(N) >キャンセル

各パラメータの説明

DHCP:/BOOTP	DHCP、および BOOTP チェックボックス を選択すると、Axis プリントサーバの起 動時に IP アドレス、サブネットマスク、 デフォルトルータを自動的に更新しま す。したがって、対応する各フィールド は手動では設定することができなくなり ます。また、「プロパティページ」では淡 色表示になります。
RARP	このチェックボックスを選択すると、 RARP が有効になります。この機能は BOOTP や DHCP とほぼ同じですが、自動 的に更新されるのはIPアドレスだけです。 RARP を有効にすると、IP アドレスは手 動で設定できなくなり、「プロパティペー ジ」では淡色表示されます。
手動	DHCP、BOOTP、または RARP が使用で きないか、または使うのが好ましくない 場合は、このチェックボックスを選択し ます。このオプションを有効にした場合 は IP アドレス、サブネットマスク、デフォ ルトルータを手動で入力します。

IP アドレス	Axis プリントサーバに設定する IP アドレ スを入力します。このアドレスは他の ネットワーク機器と重複しないようにし なければなりません。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 例えば、クラス C のサブネットマスクは 255.255.255.0 になります。デフォルトの 値「0.0.0」を設定した場合、自動ルータ 検知機能を使用することを意味します。
デフォルトルータ	デフォルトルータの IP アドレスを入力し ます。デフォルトの値「0.0.0.0」を設定し た場合、デフォルトルータは設定されま せん。

Windows•OS/2 Axisプリントサーバと接続させたいキューの名前を入力し、「次へ」 環境での設定 ボタンをクリックします。

AXIS インストレーション ウィザート		×
1949-1991 - Al 919-1	Windows、OS/2 ネットワーク環境での印刷。 お使いの Windows フリンタ、OS/2 フリンタの名前を入力してください。 LPT1 上のフリンタ AX5556A3.LP1	
	COM1 上のフリック: AX5556A3.CM1 F WINS アペイマリ WINS サーハ* 0.0.0.0 セカンギリ WINS サーハ* 0.0.0.0	
	注意: DHCP を使っている場合、DHCP サーバの設定次第 では、これらのパラバータは自動的に設定されます。	
	へルフ [*] 〈 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

各パラメータの説明

WINS	このチーックボックフなチーック
	このノエックホックへをノエック
	すると WINS サポートが有効にな
	り、自動的に WINS サーバにホス
	ト名とIPアドレスを登録できます。
	WINS サポートを無効にしたい場
	合は、チェックボックスをクリアし
	ます。

プライマリ WINS サーバ	WINS プロトコルが有効な場合、プ ライマリ WINS サーバの IP アドレ スを入力します。ただし、プライマ リ WINS サーバの IP アドレスを DHCP サーバからダウンロードす る場合を除きます。DHCP が有効で なくても、WINS は使用できます。
セカンダリ WINS サーバ	WINS プロトコルが有効な場合、セ カンダリ WINS サーバの IP アドレ スを入力します。ただし、セカンダ リ WINS サーバの IP アドレスを DHCP サーバからダウンロードす る場合を除きます。DHCP が有効で なくても、WINS は使用できます。

- プリンタの名前は、Axis プリントサーバの各機種が持つプリン タポートの数だけ表示されます。
- この名前はユーザがプリンタを選択するときに表示されます。
 したがって、機種やプリンタの場所などのわかりやすい名前を
 設定すると便利です(注意:プリンタポート名は、MS-DOSの
 ファイル名規則(8+3 文字)にしたがってください)。
- プリンタポートのフィールドをブランクのままにしておいた 場合、プリンタポートはインストールされません。また、「セッ トアップ」メニューなどから「ネットワーク」オプションを選 択し、「Windows、OS/2」タブを表示させても「Windows プリ ンタ、OS/2 プリンタ」リストにプリンタ名は追加されません。
- デフォルトの名前は Axis プリントサーバ名と LPT1、LPT2、 COM1 の各プリンタポートから与えられます。
- インストール後、「セットアップ」メニュー、または「ポップ アップ」メニューの「ネットワーク」の「ネットワーク」オプ ションを使用してプリンタ名を変更することができます。

AppleTalk 環境Axis プリントサーバと接続させたいキューの名前を入力し、「次へ」での設定ボタンをクリックします。

AXIS インストレーション ウィザート			×
	Apple Talk ネットワーク環均	竟での印刷。	
	お使いの AppleTalk プ	リンタの名前は何がいいですか?	
	LPT1 上のフツンタ፡	AXIS5556A3_LPT1 LaserWriter	
	LPT2 上のフツンタ፡	AXIS5556A3_LPT2 LaserWriter	
	COM1 上のフツンタะ	AXIS5556A3_COM1 LaserWriter	
	<u>^⊮</u> 7°	│ 〈 戻る(B) │ 次へ(N) 〉 │ キャン	th 🛛

- Axis プリントサーバの各機種が持つプリンタポートの数だけ 表示されます。
- この名前はユーザがプリンタを選択するときに表示されます。
 したがって、機種やプリンタの場所などのわかりやすい名前を
 設定すると便利です。
- デフォルトの名前は Axis プリントサーバ名と LPT1、LPT2、 COM1の各プリンタポートから与えられます。
- プリンタポートのフィールドをブランクのままにしておいた 場合、プリンタポートはインストールされません。また、「セッ トアップ」メニューなどから「ネットワーク」オプションを選 択し、「AppleTalk」タブを表示させても、「AppleTalk プリンタ」 リストにプリンタ名は追加されません。
- もし、必要ならばプリンタ・タイプを変更することができます。
 工場出荷時のデフォルトは「LaserWriter」です。

パスワードの設 必要であれば管理者用パスワードを設定し、テストプリントの出力 定とテストペー 先を選択し、「完了」ボタンをクリックします。この例ではパスワー ジの出力 ドを設定せずに、NetWare 経由でテストプリントを実行するように しています。「プリンタ」には「AXIS5556A3_LPT1_Q」を選択して います。

AXIS インストレーション ウィザート	
	■管理者用パスワードを設定する パスワード:
	▼ インストール後、NetWare 経由でテスト ペーシを印刷する ブリンタ: AXIS5556A3_LPT1_Q
	これで、インストールを完了するのに必要な情報はすべて揃いました。
	インストールを実行するには、完了をクリックしてください。
	〈 戻る(B) 完了(E)キャンセル

各パラメータの説明

管理者用パスワードを設定する	Axisプリントサーバの設定ファイ ルにパスワードを設定し、アクセ スを制限することができます(オ プション)。パスワードを設定し た場合、「プロパティページ」、 「ネットワーク」ウィンドウにア クセスする前にパスワードを入 力する必要があります。パスワー ドな、 プロパティページ」を使用 して変更することができます。パ スワードを忘れた場合はAxisプリ ントサーバを工場出荷時の状態 (設定)に戻す以外に解除する方 法はありません。また、初期化後、 再度インストールする場合は、以 前設定したパラメータなどはす べて削除されます。
インストール後、NetWare 経 由でテストページを印刷す る	「完了」ボタンをクリックすると、 NetWare 環境で選択したプリンタ を経由してテストページを出力 しようとします。このテストによ り NetWare 環境でのインストール が正しく行なえたかどうか確か めることができます。また、テス トページではウィザードを使用 して設定した内容を確認するこ とができます。

インストールの
 インストールを終了するとダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックし、インストール作業を終了します。インストールした Axis プリントサーバは「未設定 AXIS プリントサーバ」フォルダから「設定済プリントサーバ」フォルダへ移動します。

AXIS Net	Pilot	\times
٩	インストールが完了しました	•
	<u>OK</u>	

3.4. ネットワーク環境の変更

「ネットワーク」ウィンドウを使用して簡単に Axis プリントサーバ に関連するネットワーク環境の変更を行なうことができます。

注意: NetWare 環境の変更を行なうためには事前にネットワーク管理者権限で NetWare 環境にログインしている必要があります。例えば、NetWare3.xJ では 「Supervisor」、NetWare4.1xJでは「admin」でログインします。また、NetPilot を利用するクライアントマシンは NetWare 環境(NDS、またはバインダリ)にア クセスできる必要があります。

ネットワーク ウィンドウの表 示

- 必要であれば、メインウィンドウの中の「Axis プリントサー バ」フォルダをダブルクリックし、「設定済プリントサーバ」 フォルダの中の AIXS プリントサーバを選択します。
- 2. 変更したい Axis プリントサーバのアイコンをクリックします。
- 「セットアップ」メニューの中の「ネットワーク」、ツールバー の「ネットワーク」ボタン、または Axis プリントサーバをク リックしてから、マウスの右ボタンをクリックし「ポップアッ プ」メニューから「ネットワーク」のいずれかを選択します。

「ネットワーク」ウィンドウには、例えば、「NetWare」、「Windows、 OS/2」、「AppleTalk」のように、選択した Axis プリントサーバの利 用可能な環境に依存したいくつかのタブのついたページがありま す。

3.4.1.NetWare 環境の変更

 「NetWare」ウィンドウでは、Axis プリントサーバに接続されて いるすべてのプリントキュー(プリントサーバモード)とすべ ての NetWare プリントサーバ(リモートプリンタモード)が表 示されます。 キューを参照するには、ユーザは対応するリソースにログイン している必要があります。



各ボタンの説明

接続	「NetWare プリントキューの接続」Windows を 表示します。
切断	Axis プリントサーバポートから選択したプリ ントキューの接続を解除します。
プリンタの表示	リモートプリンタモードで動作している Axis プリントサーバに接続されたプリンタの位置 を表示します。「ネットワーク」ウィンドウを 開くたびに、リモートプリンタ(NetWare プ リントサーバ)がプリンタポート、プリント キューとは別のオブジェクトとして階層の一 番下に表示されます。
プリンタの削除	リモートプリンタモードで動作しているプリ ンタを削除します。プリントキュー、Axis プ リントサーバオブジェクト、プリンタオブ ジェクトが NetWare ファイルサーバから手動 (NetPilot を使わずに) で削除された場合に使 用します。「プリンタの削除」ボタンは「プリ ンタの表示」ボタンを使用してリモートプリ ンタを表示した後にしかクリックすることが できません。

バナータイプ	バナーページの出力形式を「テキスト」、 「PostScript」のいずれかに設定します。「バナー タイプ」ボタンをクリックする前に、LPT1、 LPT2、COM1 のいずれかを選択する必要があ ります。
コンテキスト:	ネットワーク構造の中のプリンタオブジェク トの場所を選択します。
優先 NDS ツリー	起動時にプリントサーバがログインする NDS ツリーをを選択します。
優先ファイル サーバ	起動時にプリントサーバがログインするファ イルサーバを選択します。
変更	ファイルサーバを変更するには「変更」ボタ ンをクリックします。NDS ツリーにログイン するためのNDSプリントサーバの定義ダイア ログが表示されます。

3.4.1.1. プリントキューの接続(プリントサーバモード)

ここでは、プリントキューをプリントサーバポートに接続する方法 について説明します。通常、「インストレーションウィザード」で Axis プリントサーバを NetWare 環境にインストールすると、プリ ントサーバモードで接続することになります。

- 1. プリントサーバポート (LPT1、LPT2、COM1) アイコンをク リックします。
- 2. 「接続」ボタンをクリックして「NetWare プリントキューの接続」ウィンドウを表示します。
- 3. 「リソース」ボックスの矢印ボタンをクリックし、ドロップダ ウンリストの中からプリントキューを作成するファイルサー バ (NDS ツリー)を選択します。
- 4. 次のいずれかの方法で「NetWare プリントキュー」リストの中のプリントキューを選択します。
 - 既存のキューを選択
 - 「キューの作成」ボタンをクリックして、新しいプリントキューを作成
 - 「キューの削除」ボタンをクリックしてプリント
 キューを削除することもできます

5. 動作モードの中の「プリントサーバモード」を選択し、最後に 「OK」ボタンをクリックします。

tWare フリント キューのき	接続		2
<u> </u>	IWTREE	•	ОК
カレント コンテキスト:	sales.kk.com.axis		キャンセル
NetWare フツントキ:	. ∽:		
RENLS:Publish	er=Novell+NLS:Pro	duct=NetW.	
AXIS18134	S IPT1 Q		
≝ AXIS18134	3_LPT2_0		キューの作成(0)
📇 AXIS5556A	3_COM1_Q		
🛎 AXIS5556A	3_lpt1_Q		キューの削除(<u>D</u>)
AXIS5556A	3_LPT2_Q		
	ickup wueue	▼ ►	
● プリント サーハ*:	F		
CIII	 		
-NetWare	- 「 コ ^ッ リット サーハ ^ッ ――――		(zngk) 番号
ブラウス(3)	☑自動	h
			h:

3.4.1.2. プリントキューの接続(リモートプリンタモード)

ここでは、リモートプリンタモードでの接続方法について説明しま す。最初に「インストレーションウィザード」を利用して Axis プ リントサーバの設定(プリントサーバモード)を行ないます。

- 1. 「ネットワーク」ウィンドウの中の「NetWare」ウィンドウを開 きます。
- 2. 既存のプリントキューを選択し、「切断」ボタンをクリックします。
- 3. プリントサーバポート (プリントキューを切断したポート)の アイコンを選択し、「接続」ボタンをクリックします。
- 4. 「NetWare プリントキューの接続」ウィンドウが表示されます。
- 「リソース」ボックスの矢印ボタンをクリックし、ドロップダ ウンリストの中からプリントキューを作成するファイルサー バ (NDS ツリー)を選択します。
- 6. 次のいずれかの方法で「NetWare プリントキュー」リストの中のプリントキューを選択します。
 - 既存のキューを選択
 - 「キューの作成」ボタンをクリックして、新しいプリントキューを作成
 - 「キューの削除」ボタンをクリックしてプリント
 キューを削除することもできます

7. 動作モードの中の「リモートプリンタモード」を選択し、プリ ンタ (スロット)番号パラメータを設定します。

tWare フリント キューのき	接続		
リソース:	IWTREE	_	OK
カレント コンテキスト:	sales.kk.com.axis		キャンセル
NetWare フツント キ:	. ⊶:		
🖷 NLS:Publist	er=Novell+NLS:Prod	uct=NetW.	107 10
📲 SUPPORT			
📇 AXIS18134	3_lpt1_Q		
📇 AXIS18134	3_lpt2_q	+:	ュ−の作成©)
📇 AXIS5556A	3_COM1_Q		
📇 AXIS5556A	3_LPT1_Q		ューの削除(<u>D</u>)
📇 AXIS5556A	3_LPT2_Q		
📇 NW51FS Ba	ickup Queue	-	
•		Þ	
┌ 動作モード────			
C 19P25 #= 033	FK*		
	L 1		
• <u>1</u> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u>E-M</u>		
NetWare	フツント サーバー	7929 (20%	り 番号
フ ラウス (3)	☑自動	
		□ 手動:	

8. 「ブラウズ」ボタンをクリックして、NetWare プリントサーバを 選択します。

リソース:	IWTREE
カレント コンテキスト:	PrintServer.tech.kk.com.axis
NetWare フツントサー	-N ⁴ :
î. .	
AXIS3FCC9	5
🖧 FUJIXEROXC	188E74
🕰 i411ps	
🚨 LBP730PS	
🕰 miki	

- 9. 「NetWare プリントキューの接続」ウィンドウに戻り、「OK」ボ タンをクリックします。
- 10. 以下のダイアログが表示されるので、「OK」ボタンをクリック します。NetPilot を終了し、NetWare プリントサーバを再起動し ます。

AXIS Net	Pilot 🔀
⚠	接続を使えるようにするには、NetWare フリント サーバを再起動する必要があります。
	OK
再度、NetPilot を起動し、設定した Axis プリントサーバをダブ ルクリック、または「セットアップ」メニューの「ネットワー ク」を選択します。「NetWare」ウィンドウには、NetWare プリ ントサーバが表示されます。

ネットワーケ環境	X
NetWare Windows, OS/2 AppleTalk	
AXIS 5600+ - AXIS5556A3	閉じる
接続済みのフリントキュー:	~/JJ?
COM1	
NDS フツント サーバの定義 コンテキスト: sales.kk.com.axis 優先 NDS ツリー: IWTREE 変更処	

注意: NetWareプリントサーバにAxisプリントサーバが接続しない場合は、Axis プリントサーバの電源を OFF/ON してみてください。

3.4.1.3. リモートプリンタモード (NetWare 4.1xJ・バインダリ接続)

ここでは、NetWare 4.1xJ・バインダリ接続における、リモートプリ ンタモードでの接続方法について説明します。最初に「インスト レーションウィザード」を利用して Axis プリントサーバの設定(バ インダリ接続・プリントサーバモード)を行ないます。 1. 「ネットワーク」ウィンドウの中の「NetWare」ウィンドウを開きます。

ネットワーク環境		×
NetWare Windows, OS/2 AppleTalk		
AXIS 5600+ - AXIS5556A3		閉じる
接続済みのフツント キュー:		^ル7°
□ □	▲ 接続© 切断①	
in y PR3 in y PR4	ハゲー ダイフ (B)	
PR5	1999の表示の	
⊡· プ YK0 NDS プソント サーバの定義 コンテ キスト: 優先:	 ▼ 777700 HUFKE/ 変更仇 	

- 2. 既存のプリントキューを選択し、「切断」ボタンをクリックします。
- 3. 「3.4.1.2. プリントキューの接続 (リモートプリンタモード)」の 手順にしたがって、リモートプリンタモードの設定を行ないま す。
- 4. 「NetWare アドミニストレータ」を起動します。
- 5. プリントサーバ、プリントキューをインストールしたバインダ リコンテキストに移動し、「NetWare アドミニストレータ」の 「オブジェクト」メニューから「作成」を選択します。
- 「新しいオブジェクトクラス」ダイアログの「オブジェクトク ラス」リストボックスから「プリンタ」を選択し、「OK」ボタ ンをクリックします。
- 7. 「プリンタの作成」ウィンドウの「プリンタ名」に任意の名前 を入力し、「作成」ボタンをクリックします。
- コンテキストの中の「7.」で作成したプリンタオブジェクトを ダブルクリックします。
- 9. 「プリンタ」ウィンドウの「割り当て」ボタンをクリックし、 「追加」ボタンをクリックします。
- 10. NetPilot などで作成したプリントキューを選択し、「OK」ボタ ンをクリックします。
- 11.「OK」ボタンをクリックし、「プリンタ」ウィンドウを閉じます。
- 12. コンテキストの中の NeWare プリントサーバをダブルクリック します。
- 13.「プリントサーバ」ウィンドウの「割り当て」ボタンをクリックし、「追加」ボタンをクリックします。

- 14.「7.」で作成したプリンタ(オブジェクト)を選択し、「OK」ボ タンをクリックします。
- 15.「OK」ボタンをクリックし、「プリントサーバ」ウィンドウを 閉じます。

注意: NetWareプリントサーバにAxisプリントサーバが接続しない場合は、Axis プリントサーバの電源を OFF/ON してみてください。

3.4.1.4. バナータイプの変更

「NetWare」ウィンドウの中の「バナータイプ」ボタンをクリックす ることにより NetWare の見出しページの種類を「テキスト」、また は「PostScript」に設定(変更)することができます。

LPT1 パナー タイフ* デウォルト パナー タイフ* ・ 「テキスト C PostScript	× OK キャンセル ヘルフ [*]
AXIS NetPilot このホペートのすべての接紙 外ク"を適用しますか?	区 してデウォルト ハサー
	いいえい

3.4.2.Windows、OS/2 環境の変更

- Axis プリントサーバに接続できるプリンタの台数は、使用できるポート数で制限されます。ただし、論理プリンタ機能により、ユーザには実際より多くのポートがあるように見えることがあります。
- 各論理プリンタと物理プリンタには、個別に名前を付けること ができます。これは、Windows、または OS/2 ワークステーショ ンからプリンタを選択するときに、ユーザに表示されるプリン タ名です。
- プリントサーバの機種に依存して、最高2台、または3台のプリンタとして名前がつけられます。

NetWare Window	s. OS/2 Ap	pleTalk		_
AXIS 5600+ - AXIS55	56 A3			閉じる
Windows ንፃンጷ OS/2	ንሣンጵ			^₩7°
AX5556A3.LP1	PR1		削除(<u>D</u>)	
AX5556A3.LP2	PR2			
AX5556A3.CM1	PR3			
- フッシンタの 治自力ロー				
////////2/00			追加(鱼)	
フリンタ名:				
フリンダ名:				
79)次名:				
ブリンタ名: 				
フリンタ名: ホペート: PR1 ・				
79)29名: ////////////////////////////////////				
79))/\$名: PR1 💌				

各ボタンの説明

削除	既存のプリンタ名を削除します。削除するに はウィンドウの中のプリンタをクリックし、 さらに「削除」ボタンをクリックします。
追加	 新しいプリンタを利用可能にします。 1. 適切なプリンタ名を入力します。(8+3 形式) 2. プリンタを接続するポート(LPT1、LPT2、COM1)を選択するか、ドロップダウンリストから論理プリンタ(PR1~PR8)を選択します。 3. このプリンタを利用可能なプリンタのリストに追加するために「追加」ボタンをクリックします。

注意:「追加」ボタンは、上記のすべての選択を行なうまで、淡色表示になって います。追加できるプリンタの最大数を超えた場合も「追加」ボタンはクリッ クできなくなります。この場合は、新しいプリンタを追加する前に、既存のプ リンタのどれかを削除してください。

3.4.3.AppleTalk 環境の変更

- Axis プリントサーバに接続できるプリンタの台数は、使用できるポート数で制限されます。ただし、論理プリンタ機能により、ユーザには実際より多くのポートがあるように見えることがあります。
- 各論理プリンタと物理プリンタには、個別に名前を付けることができます。これは、Apple コンピュータからプリンタを選択するときに、ユーザに表示されるプリンタ名です。
- AXIS 5600+ では、最高 3 台のプリンタとして名前がつけられ ます。

ppleTalk ንግሥም			 	. _	∿ルフ°
XIS5556A3_LPT1 XIS5556A3_LPT2 YIS5556A3_COM	LaserWriter LaserWriter	PR1 PR2	<u>肖川除(D)</u>		
フツンタの追加――			 ·启tm(A)		
7929名:			<u></u>		
ጋ ዓንታል አብታት በ					
taser writer					
PR1					
ハドイナリ タイプキ					

各ボタンの説明

削除	既存のプリンタ名を削除します。削除するに はウィンドウの中のプリンタをクリックし、 さらに「削除」ボタンをクリックします。
----	---

追加

注意:「追加」ボタンは、上記のすべての選択を行なうまで、淡色表示になって います。追加できるプリンタの最大数を超えた場合も「追加」ボタンはクリッ クできなくなります。この場合は、新しいプリンタを追加する前に、既存のプ リンタのどれかを削除してください。

3.5. プロパティページ

Axis プリントサーバにはプリントサーバ自身の動作を制御するための設定パラメータ、つまりプロパティがあります。これらのプロパティは Axis プリントサーバ内部の不揮発性メモリに保持され、 NetPilot の設定プログラムによりアクセスすることができます。

- プロパティの変 プロパティは「プロパティページ」で変更します。これらは各設定 パラメータのグループごとに1つの「プロパティページ」にまとめ られています。 ここでは、代表的な「プロパティページ」の設定方法と各パラメー タについて説明します。ここで説明されない「プロパティページ」 のパラメータについては、製品に付属の「ユーザーズマニュアル」 の「パラメータリスト」、または NetPilot の「ヘルプ」を参照して ください。
- **プロパティペー** 1. 必要であれば、「AXIS プリントサーバ」フォルダをダブルク ジを開くには リックし、「設定済プリントサーバ」フォルダを表示します。
 - 「設定済プリントサーバ」フォルダをクリックし、設定を変更 したい Axis プリントサーバの名前(AXISnnnnn)をクリック します。複数台の Axis プリントサーバの同じパラメータの設 定を一度に変更することもできます。
 - 「セットアップ」メニューの「プロパティ」、ツールバーの「プ ロパティ」ボタン、「ポップアップ」メニューの「プロパティ」 のいずれかを選択します。

3.5.1. 一般プロパティ

XIS5556A3 - AXIS 5600+		
SNMP	1	Email
Reverse Telnet FTP	論理プツンタ LPT	1 LPT2 COM1
→ 般 NetWare	Windows、OS/2	AppleTalk TCP/IP
□ 変更する ノート アト・レス:	00 40 8C 55 56 A3	ОК
		キャンセル
管理者用パスワード	****	適用
内部的な印刷の出力先	PR1 🗾	
∿~-z URL:	www.axis.com	<u>^⊮フ°(H</u>)
HP JetAdmin サポート:	NO	
システムの場所:		======================================
システムのコンタクト先:		
I⊽ AXIS Print System のサポ〜	トを行う	

各パラメータの説明

ノードアドレス	工場出荷時状態では、Axis プリントサーバ底 面のシリアル番号と同じ12桁の英数字が設定 されています。
管理者用パス ワード	これはオプションです。Axis プリントサーバ の設定ファイルにパスワードを設定し、アク セスを制限することができます。パスワード を設定した場合、「プロパティページ」、また は「ネットワーク」ウィンドウにアクセスす る前に、パスワードを入力する必要がありま す。このパスワードは変更することができま す。 パスワードを忘れた場合は、Axis プリント サーバを工場出荷時の設定に戻す以外に解除 する方法がありません。また、再インストー ルする場合は、以前設定したパラメータなど はすべて削除されます。 注意:パスワードを設定しても、ユーザ権限 で「プロパティページ」、「ネットワーク」ウィ ンドウを参照することができます。ユーザ権 限で「プロパティページ」、「ネットワーク」 ウィンドウを見せないようにするためには、 「FTP」プロパティを使用して設定します。

内部的な印刷の 出力先	Axis プリントサーバ本体側面のテストボタン を使用してテストページを印刷させることが できます。このパラメータではテストページ の出力先を指定することができます。
ベース URL	このフィールドは HTTP をサポートするすべ ての Axis プリントサーバに対して表示され、 Axis プリントサーバのベース URL (Uniform Resouce Locator)を定義しています。 このフィールドを編集して変更することもで きます。
HP JetAdmin サ ポート	デフォルト値は「NO」です。NetWare の NDPS 環境でプリンタをインストールする場合は、 「Yes」に設定する必要があります。
システムの場所	(日本語は使用できません) プリントサーバが設置されている場所を示す ことができます。
システムのコン タクト先	(日本語は使用できません) システムの担当者名などを示すことができま す。
AXIS Print System のサポー トを行う	(日本語環境では未サポート) デフォルトでは、有効に設定されています。

3.5.2.NetWare プロパティ

4XIS5556A3 - AXIS 5600+			×
SNMP		Email	1
Reverse Telnet FTP	論理プリンタ	LPT1 LP	т2 СОМ1
一般 NetWare	Windows、OS/2	Apple Talk	TCP/IP
			OK キャンセル 適用
IEEE 802.3 I Ethernet II	IEEE 802.2 IZ SNAP		<u></u>
ジョブ・チェックの間隔: 5 秒 ▼ NCP パーストモードを使う	設定チェックの間隔: 300 秒		

各パラメータの説明

NetWare	NetWare による印刷は、このチェックボック スで無効にすることができます。その場合、使 用中の他のプロトコルのパフォーマンスが向 上し、ネットワークトラフィックが減ります。 印刷は無効になりますが、プリントサーバは 設定されたままになります。
トランスポート プロトコル	NetWare ネットワークでプリントサーバが通 信を行うために利用するトランスポートプロ トコルを選択します。
使うフレームタ イプ	フレームタイプを選択することにより、その 環境に適した設定を行なうことができます。
ジョブチェック の間隔	プリントサーバがキューにプリントジョブが あるかどうかをチェックする時間間隔 (単位: 秒)を入力します。有効な範囲は 1 ~ 255 秒 です。
設定チェックの 間隔	 (NDS モード専用) プリントサーバが NDS ツ リーを検索して設定を更新する時間間隔で す。この更新は、プリントサーバが起動され るとただちに行われます。有効な範囲は 1 ~ 65535 秒(約18時間 12分)です。
NCP バースト モードを使う	このパラメータはデフォルトで設定され、 ファイルサーバとネットワークプリンタとの 間で、高速なデータ転送を有効にしたり、無 効にしたりします。

3.5.3.Windows、OS/2 プロパティ

Reverse Telnet FT	 P 論理プリンタ	Email LPT1 LP	т2 сом1
一般 NetWare	Windows, OS/2	AppleTalk	TCP/IP
Windows, OS/2			ОК
	-		キャンセル
フレーム タイフ ドロース PR_AUT	0 🗾		
			池田
WINS			∧μフ°(<u>H</u>)
登録済みの WINS 名:	[未登錄]		
フプライマリ WINS サーハミ	0.0.0.0	_	
		_	
セガンダツ WINS サーバ:	0.0.0		
スコー7° ID:			

各パラメータの説明

Windows、OS/2	Windows、OS/2 環境での印刷を有効、または 無効にすることができます。不要な印刷環境 の選択を解除することにより、使用中の他の プロトコルのパフォーマンスが向上し、ネッ トワークトラフィックが減ります。
フレームタイプ	FR_AUTOを選択すると、プリントサーバは起動時に、FR_802_2、FR_DIX フレームタイプを使用してネットワークを走査し、使用するタイプを決定します。この自動シーケンスを止めたい場合は、このボックスで FR_802_2、またはFR_DIXを選択して Axis プリントサーバにこのどちらかのフレームタイプを使用させることができます。
WINS	このチェックボックスをチェックすると、 WINS サポートが有効になります。WINS サ ポートはデフォルトで有効になっています。 WINS サポートを無効にしたい場合は、チェッ クボックスをクリアします。
登録済みの WINS名	このフィールドには、プリントサーバが WINS サーバに対して登録したホスト名が表示され ます。プリントサーバがホスト名を登録して いない場合は、このフィールドに未登録とい う文字列が表示されます。

プライマリ WINSサーバ	プライマリ WINS サーバの IP アドレスです。 このアドレスは DHCP サーバから自動的にダ ウンロードすることも、手動で追加すること もできます。なお、DHCP が有効になってい なくても WINS は使用できます。
セカンダリ WINSサーバ	セカンダリ WINS サーバの IP アドレスです。 このアドレスは DHCP サーバから自動的にダ ウンロードすることも、手動で追加すること もできます。なお、DHCP が有効になってい なくても WINS は使用できます。
スコープ ID	WINS 名の登録で使用する NetBIOS スコープ を定義します。

3.5.4.AppleTalk プロパティ

AX	IS5556A3 - AXIS 5600+		×
	IS5556A3 - AV3S 5600+ SNMP Reverse Telnet FTP 論理ブツンタ LF 一般 NetWare Windows、OS/2 「AppleTalk AppleTalk ゾーン: 「 HP ゾナーを使う PostScript フォント セット:DEFAULT ▼	Email .PT1 LPT2 COM1 AppleTalk TCP/IP のK キャンセル 通用 ヘルフペ仕)	

各パラメータの説明

AppleTalk	AppleTalk 環境での印刷を有効、または無効に することができます。不要な印刷環境の選択 を解除することにより、使用中の他のプロト コルのパフォーマンスが向上し、ネットワー クトラフィックが減ります。
AppleTalk ゾー ン	AppleTalkネットワークに複数のゾーンがある 場合、Axis プリントサーバをインストールす るゾーンの名前を入力する必要があります。

HP ゾナーを使	このスイッチは、HP ゾナーサポートの有効・
う	無効を切り替えます。
PostScript フォ ントセット	 このパラメータは、PostScript プリンタの常駐 フォントを指定します。 デフォルト設定では、プリンタにはフォントがなく、すべての必要なフォントをダウンロードする必要があると見なされます。 このパラメータを「35N」に変更すると、 プリンタに Adobe 35N フォントがある(アメリカとヨーロッパのすべての PostScript プリンタ)場合に、印刷時間を減らすことができます。 このパラメータを「ALL」に設定すると、 フォントがプリンタにダウンロードされなくなります。(プリンタ内蔵フォントのみを使用する場合にこれを選択します。)

3.5.5.TCP/IP プロパティ

AXIS5556A3 - AXIS 5600+	×
SNMP Email	1
Reverse Telnet FTP 論理ブリンタ LPT1 LP1	га сомі [
──般 NetWare Windows、OS/2 AppleTalk	TCP/IP
ハル、ういし日に本でしたっ	ОК
17メーヤクロ製建作で入 IP 7トもス: 192.168.70.183	 キャンセル
サブネットマスク: 0.0.0.0	
テウォルトルータ: 0.0.0.0	通用
SLP スコーフ [®] リスト: DEFAULT	(H)
■ DNS を使う DNS 名: 未登録	
- ドルク名:	
プライマリ サーハ: 0.0.0.0	
セカンダリ サーハ: 0.0.0.0	
□ DHCP 要求を使う □ TCP/IP 印刷をする	
▼BOOTP 要求を使う LPD ハナー: OFF ▼	
IM RARP 要求を使う	
PROS / UP-I// // X//~P: 4********	
- 100 m - 1 m - 5. [30	

各パラメータの説明

IPアドレス	Axis プリントサーバに設定する IP アドレスを
	入力します。このアドレスは他のネットワー ク機器と重複しないようにしなければなりま せん。

サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 例えば、通常の C クラスのサブネットマスク は 255.255.255.0 になります。デフォルトの値 「0.0.0」を設定した場合、自動ルータ検知機 能を使用することを意味します。
デフォルトルータ	デフォルトルータの IP アドレスを入力しま す。デフォルトの値「0.0.0」を設定した場 合、デフォルトルータを設定しないことを意 味します。
SLP スコープ リスト	プリントサーバが属する SLP スコープの名前 を指定します。
DNS 名	DNS サーバに登録されているプリントサーバ のホスト名が表示されます。登録されていな い場合は、「未登録」と表示されます。
ドメイン名	プリントサーバが属するドメインの名前を指 定します。
プライマリ サーバ	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを指定 します。
セカンダリ サーバ	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを指定 します。
DHCP 要求を 使う BOOTP 要求 を使う RARP 要求を 使う	DHCP、BOOTP、RARP の有効・無効を設定 します。
LPD バナー	 OFF:LPD バナーページの設定を無効に します。 AUTO:LPD バナーページを印刷します。 最初に印刷するか、最後に印刷するかは使 用する OS に依存します。 LAST:OS に依存することなく、バナー ページを最後に印刷します。
PROS プロト コルパスワー ド	PROS プロトコルが使用するパスワードを変 更することができます。デフォルトのパス ワードを変更する場合は、ホスト上の PROS ドライバのパスワードにも同じパスワードを 設定する必要があります。

PROS ポート	PROS 印刷プロトコルの PROS TCP ポート番
番号	号。このパラメータを変更する場合、ホスト
	側で対応する PROS ドライバ内のポート番号
	エントリも変更する必要があります。有効な
	範囲は0~65535です。

3.5.6. 論理プリンタプロパティ

AXIS5556A3 - AXIS 5600+			×
 一般 NetWare SNMP Reverse Telnet FTF 論理フリンタ: PRI 物理ホート: リッ LPT1 ▼ E セットー時におりの 論理フリング フィルタ: キャラクタ セットの変換 文字 矛りの 置換 PostScript 文字 矛りの 置換 PostScript 文字 矛りの 行加 16 道知ンフ[®] モート[®] 	Windows、OS/2 ・ 論理フリンタ L ・ ・ ・ いつ ・ かつか ポート: ・ ・ いつ ・ ・ ・ や ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	Apple Talk Email PT1 LPT2	TCP/IP COM1 OK キャンセル 適用 ヘルフ°(<u>H</u>)

各パラメータの説明

論理プリンタ	PR1 ~ PR8 までの内、どの論理プリンタの設定を行なうかを選択します。他のパラメータはすべてここで選択した論理プリンタの設定を変更していることになります。論理プリンタの詳細は、「ユーザーズマニュアル」を参照してください。
フィルタ	ウィンドウの中に表示されている利用可能な フィルタを選択します。フィルタを選択する と、右側のリストの中にそのフィルタで必要 な値を設定することができるようになりま す。 各フィルタの利用方法については「ユーザー ズマニュアル」、または「ヘルプ」を参照して ください。「キャラクタセットの変換」フィル
物理ポート	タは日本語環境では未サポートとなります。 論理プリンタからの出力を実際に出力する ポート(LPT1、LPT2、COM1)を選択します。

リードバック	双方向通信を行なう場合は、「AUTO」を選択
ポート	します。
ビジー時に別 の論理プリン タにリダイレ クトする	このチェックボックスをチェックすると、出 力先のプリンタがビジー状態のときに代わり に出力するプリンタをドロップダウンリスト の中の PR1 ~ PR8 の論理プリンタか、LPT1、 LPT2、COM1 を選択することができます。リ ダイレクションは、ビジーステータスタイム アウトが完了するまで行なわれません。

3.5.7. LPT1/LPT2/COM1 プロパティ

AXIS5556A3 - AXIS 5600+			×
→般 NetWare	Windows, OS/2 Ap	pleTalk TCP/IP	
SNMP	ľ l	Email	
Reverse Telnet FTP	論理プリンタ LPT1	LPT2 COM1	1
ヒシシー ステータス タイムアウト (秒): セントロニクス インタフェース タイミンクシ	30 HISPEED ▼	・ OK キャンセル 適用	
コメント: つりソス管理情報: ○無効 ◎自動		<u>∿</u> ⊮7*(<u>H</u>)	
テスト ページの印刷(Ⴒ)			

各パラメータの説明

LPT1/LPT2/ COM1	設定したいプリンタポートを選択します。 プリントサーバの機種に応じて、最大 3 つの ポートがあります。
ビジーステー タスタイムア ウト	プリントサーバが、プリンタからビジー信号 が送られている間に待つ秒数を設定します。 この時間が経過すると、プリントサーバから ビジーステータスが報告されます。ただし、印 刷のリダイレクトを設定してある場合は、2番 目に選択したプリンタでも同じタイムアウト 時間が経過しない限り、ビジーステータスは 報告されません。有効な範囲は、0~255秒で す。

セントロニク	(LPT1、および LPT2 パラレルプリンタポート
スインター	専用)
フェースタイ	セントロニクスインターフェースのタイミン
ミング	グを次の中から選択します。
	• IBM_PC = 低速。最高 68K バイト / 秒。
	• STNDRD = 標準速度。最高 160K バイト /
	秒。
	• FAST = 高速。最高 700K バイト / 秒。
	• HISPEED = 高速セントロニクス転送速
	E 最高 500K バイト / 秒
	反。取用 $500K$ = 直由 $1/1/2$ 。
	ACK を悪悦。 取高 500K ハイト / 杪。
プリンタ	(COM1 シリアルプリンタポート専用)
フィードバッ	シリアルポートを双方向通信の一部として使
ク遅延	用した場合の、ジョブの最後から通信終了ま
	での待ち時間(単位:秒)。有効な範囲は0~
	255 秒です。
プリンタ管理	プリントサーバがプリンタからプリンタ固有
情報	情報を受信できるときに表示されます。次の
	中から選択してください。
	・ 自動 = プリントサーバはプリンタからプ
	リンタのステータス情報を受信可能。
	・ 無効 = プリントサーバはプリンタからプ
	リンタのステータス情報を受信不可能。プ
	リンタが PJL をサポートしない場合は、こ
	ちらを選択するようにしてください。
	注意:このパラメータはすべての製品、また
	はソフトウェアバージョンでサポートされて
	いるわけではありません。

ハンドシェー	(COM1 シリアルプリンタポート専用)
クプロトコル	ドロップダウンリストの中から選択してくだ
	こい。 • NONE - ハンドシェークプロトコルを研
	効にします。
	• XON/XOFF = XON/XOFF プロトコルを有
	効にします。すなわち、印刷データの流れ
	は、XON/XOFF 制御文字で制御されます。
	• ROBUST = $n - k \dot{p} \pm r n + k \dot{p} \pm r - \dot{p}$
	プロトコルを有効にし、各プリントジョブ の前に XON を送信します。
	• RDY/BSY = $n - k \dot{D} x T n - k$
	プロトコルを有効にします。すなわち、印
	刷データの流れは、別々の制御用結線によ
	りコントロールされます。
	• BOTH = $XON/XOFF \ge N - FU = f / N > D = D = T = T = T = T = T = T = T = T =$
	トシェークの両方を有効にします。 • ROBUST-ROTH = ROTH と同じで さら
	に各プリントジョブの前に XON を送信し
	ます。
ボーレート・ス	(COM1 シリアルプリンタポート専用)
トップビット・	プリンタの条件に応じて、これらのパラメー
ティ	クに適したものを迭択してくたさい。
テストページ	テストページを印刷する場合は、このボタン
の印刷	をクリックします。IPX、または NetBIOS/Net-
	BEUI を使って印刷するよう選択することが
	できます。

3.6. プリントサーバフォルダの作成

ここでは、プリントサーバグループの作成方法などについて説明します。

いくつかのプリントサーバを、1 つのグループ名を持つグループと して扱うと、ネットワークに複数のプリントサーバがインストール されている場合の設定と管理が簡単になります。

プリントサーバ 1. 「AXIS プリントサーバ」フォルダをクリックします。

グループを作成 する 「ファイル」メニューから「新しいプリントサーバグループ」を 選択するか、またはツールバーの「新しいグループ」ボタンを クリックします。



- 3. ダイアログボックスで、プリントサーバグループの名前を入力 します。
- 4. 「OK」ボタンをクリックします。

新しいフリント サーバ ゲルーフ)°	×
名前:		
Technical		
ОК	キャンセル	

- **プリントサーバ** 1. プリントサーバを追加するプリントサーバフォルダを選択し **グループにプリ** ます。
 - 2.「ファイル」メニューから「プリントサーバの追加」を選択するか、またはツールバーの「プリントサーバの追加」ボタンを クリックします。

🛜 AXIS NetPilot	
ファイル(E) セットアップ(S) 表示(V) ヘルプ(H)	
	? ^///7*
AXIS フツント サーバ 開いているフォルタ: 'Technical'	
📴 💼 AXIS プリント サーバ	
□ □ 設定済 プリント サーバ	
□ 未設定 AXIS プリント サー	
💼 💼 Technical	
□ 🔄 監視対象 プリンタ	
へい)を見るには、FI +-を押してください。	

クルーフにフリ ントサーバを追 加する

- 3. 「ネットワークプリントサーバの追加」ダイアログで、ショー トカットを作成するプリントサーバをクリックします。
- 4. 「OK」ボタンをクリックします。

ネッ	ትዎ - ሳ ንሣንት 	サーバの追	加			×
	· /-r ● 名前	Oŧ	デル			
	🚳 AXIS55	56A3	AXIS	5600+		
1					4	
		ЭК		キャンセル		

プリントサーバ 1. プリントサーバを削除するプリントサーバフォルダをクリッ **グループからプ** クします。

リントサーバを 2. 削除するプリントサーバをクリックします。

削除する 3. 「ファイル」メニューから「オブジェクトの削除」を選択します。

プリントサーバ 1. 削除するプリントサーバフォルダをクリックします。

グループを削除 2.「ファイル」メニューから「グループの削除」を選択します。 する

注意:プリントサーバフォルダは、空でないと削除できません。

3.7. プリンタの監視

NetPilot を利用してプリンタグループを作成し、プリンタの監視を 行なうことができます。

プリンタグルー 1. 監視対象プリンタフォルダをクリックします。 **プの作成** 2. 「ファイル」メニューから「新しいプリンタグループ」を選択します。



- 3. ダイアログボックスにプリンタグループの名前を入力し、 「OK」ボタンをクリックします。
- 4. 作成した新しいグループのフォルダをクリックします。

😵 AXIS NetPilot	<u>- 0 ×</u>
ファイル(E) セットアッフ°(S) 表示(W) ヘルフ°(H)	
	? ^//7*
監視対象 フツンタ 開いているフォルタシ 'Technical'	
□ AXIS プリント サーバ □ 設定済 プリント サーバ □ 未設定 AXIS プリント サー、 □ 未設定 AXIS プリント サー、 □ 和設定 AXIS プリント サー、 □ 和助定 AXIS プリント サー、 □ 和助定 AXIS TO	
へルプを見るには、F1 キーを押してください。	

- 5. 「ファイル」メニューから「プリンタの追加」を選択するか、 「プリンタの追加」ボタンをクリックします。
- 6. 「プリンタの追加」ダイアログウィンドウが表示されます。こ のダイアログボックスで必要なプリントサーバ名をダブルク

リックして、プリントサーバポートを表示します。監視したい プリンタの名前をクリックして選択します。

7%ンタの追加	×
AXIS5556A3 AXIS5556A3 LPT1: DocuPrint 201PS LPT2: AXIS5556A3_LPT2 COM1: AXIS5556A3_COM1	
名前: De-cu:De-int 201 DS	
Juscurrint 20175	
OK ++>>セル	

必要なら、選択したプリンタの名前を変更して、追加をクリックします。メインウィンドウの右側部分にプリンタが表示されます。



この手順を繰り返して監視するプリンタを設定し、必要な数のグループを作成します。

プリンタの状態 プリンタの状態は、テキストとつぎようなアイコンの色の変化で表示されます。

緑	レディまたはビジー(正常状態)
黄色	オフライン
赤	用紙なし
淡色表示	未接続

くには

1. 監視したいグループのフォルダをクリックします。 独立した監視

ウィンドウを開 2. 「ファイル」メニューまたはツールバーの「監視」ボタンをク リックします。

> 新しいウィンドウが表示されます。このウィンドウの位置は必要に 応じて変更できます。このウィンドウをアイコン化すると、前述の 色の説明に従って、グループ内で最も悪い状態にあるプリンタを表 す色で表示されます。

■ 監視: T ファイル(E)	echnical グルーフ®(<u>G</u>) イ	√レフ°(<u>H</u>)	<u>- </u>
蒘 Doci	ıPrint 201PS	L ว ี"า	AXIS5556A3
•			Þ

3.8. その他の機能

3.8.1. パラメータリストエディタ

パラメータリストエディタでは、プリントサーバまたはハードディ スク上のファイルから読み込んだ任意のパラメータリストを編集 することができます。また、任意のプリントサーバまたはハード ディスク上のファイルに、編集したパラメータリストを保存するこ ともできます。このエディタ (ウィンドウ) は、通常のテキストエ ディタです。パラメータリストエディタを起動するには、「セット アップレメニューの「パラメータリストの編集」を選択します。

ለ°ጛメ−タリスト エデ ² 19	×
「パラメータリスト	
(AXIS 5600+ Network Print Server V6.20 Dec 19 2000. S	閉じる(<u>C</u>)
Parameter settings:	
General Menu NODE ADDR. : 00 40 8C 55 56 Å3 NETWORK_SPEED. : AUTO_SENSE (AUTO_SENSE, 10_HALF_DX, PS_NAME. : AXIS5556A3 ROÕT_PWD. : pass USERS. : BASE_URL. : www.axis.com CHARSET. : ISO-8859-1 (ISO-8859-1, UTF-8) IANG. : English (English, French, German, Spar AXIS_PRINT_SYSTEM. : YES HP_JETADMIN. : NO (YES, NO) DEF_OUT. : PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7 SYS_LOC. : SYS_CONT. :	
TCP/IP Menu TCP_ENB. : YES INT_ADDR. : 192 168 70 183	印刷(P)
読み込み	

パラメータリス 1. ハードディスクまたはプリントサーバのどちらからパラメー トを読み込むに は

- リントサーバから」を選択します。 2. 「読み込み」ボタンをクリックします。
- 3. 例えば、「プリントサーバから」を選択した場合、プリントサー バを選択するダイアログが表示されます。

タリストを読み込むかに応じて、「ファイルから」、または「プ

フリント サーバオ	ら読み込み		×
● 名前	Сŧ	テル	
M AXIS	5556A3	AXIS 5600-	+
	OK	キャンセ	IL

4. 「OK」ボタンをクリックします。

編集したパラ メータリストを 保存するには

- 1. ハードディスクまたはプリントサーバのどちらにパラメータ リストを保存するかに応じて、「ファイルへ」、または「プリン トサーバへ」を選択します。
- 2. 「保存」ボタンをクリックします。
- 3. 例えば、「プリントサーバへ」を選択した場合、プリントサー バを選択するダイアログが表示され、「OK」ボタンをクリック すると、「ダウンロードの進行」ウィンドウが表示されます。



3.8.2. 概要ウィンドウ

「概要」ウィンドウは Axis プリントサーバとそのポートに接続され たプリンタに関する簡単な情報を表示します。詳細は「ヘルプ」を 参照してください。

名前	プリントサーバ名を表示します。
モデル	Axis プリントサーバのモデル名を表示し ます。
シリアル番号	Axis プリントサーバの背面に記してある 番号です。
ソフトウェアリ ビジョン	ファームウェアバージョンを表示しま す。
プリンタの状態	プリンタポートの状態を表示します。

例えば、以下のような情報を表示します。

名前: モデル:	AXIS5556A3 AXIS 5600+
ハートウェア	
\$477°:	Network Print Server
シリアル番号:	00408C5556A3
ネットワーク モード:	Fast Ethernet (100baseTX)
ソフトウェア	
リビジョン	6.20
リリース日:	Dec 19, 2000

3.8.3. プリントジョブウィンドウ

「プリントジョブ」 ウィンドウには、最後の10個のプリントジョブ の状態が表示されます。

必要なプリントサーバアイコンをクリックします。

プリントジョブ ウィンドウを開 「ファイル」メニュー、または「ポップアップ」メニューから、「プ くには リントジョブ」を選択します。

「プリントジョブ」ウィンドウの各項目の意味は以下の通りです。

JOB	単純なプリントジョブシーケンス番号
USER	プリントジョブを送信したユーザの名前
PROT	ネットワーク経由でプリントジョブの送信に使用 したプロトコル

LPR	プリントジョブが通過した論理プリンタ番号
S	プリントジョブの状態 (C=完了、O=プリンタオフライン、P=印刷中)
BYTES	印刷データのサイズ
ETIME	経過時間
OTIME	オフライン時間

「Update」ボタンをクリックすると、ただちにプリントサーバから 現在のプリントジョブ情報を入手することができます。

AXIS5556A3	(AXIS 5600+) - フツント ジョブ					×
JOB	USER	PROT	PORT	S	BYTES	ETIME
2	Think1	LPD	PR1	с	239053	1
1	Think	LPD	LPT1	С	144528	2
l	Update	Close			Help	

4.AXIS Print Utility for OS/2

「AXIS Print Utility for OS/2」をインストール(使用) するためには、 NetBEUI プロトコルがアクティブでなければなりません。アクティ ブでない場合は、MPTS/LAPS (LAN Server)、または SETUP (LAN Manager)を使用してアクティブにします。

4.1. インストール

ピー

以下の例では PC/AT 互換 (DOS/V) 機上の OS/2Warp (ver.3.01)、 LAN Server J4.0 環境に「AXIS Print Utility for OS/2」をインストー ルしています。

- **インストールプ** 1. フォーマット済みのフロッピィディスクを挿入します。 **ログラムのコ** 2. CD-ROM ドライブに CD-ROM を挿入し、自己解凍プロ
 - CD-ROM ドライブに CD-ROM を挿入し、自己解凍プログラム (¥Software¥axpu¥axpu116.exe)をフロッピーディスクにコ ピーします。
 - 3. 「DOS/V ウィンドウ表示」を開き、axpull6.exe を実行します。
 - 4. axpull6.exe が終了すると、フロッピーディスクには「AXPU」 ディレクトリが作成されます。

4.2. インストールの開始

1. 「OS/2 ウィンドウ表示」を開き、フロッピィディスクに作成さ れた「AXPU」ディレクトリまで移動し、INSTALL.EXE を実行 します。

■ 08/2 ウィンドウ表示 08/2 モード Ctall+Ecol= ウィンドウ・リフト	<mark>ロロ</mark> HFTP = ヘルプ情報
[A:¥]od axpu	
[A:¥AXPU]install.exe	
│英数 半角 R	

- 2. 表示される指示にしたがって「AXIS Print Utility for OS/2」をインストールするドライブを選択します。
- 3. 「AXIS Print Utility for OS/2」をインストールするディレクトリ を選択します。デフォルトは「¥AXPU」です。
- 「AXIS Print Utility for OS/2」を使用するには、STARTUP.CMD ファイルを変更する必要があります。「May I create/modify your STARTUP.CMD file if needed (Y/N)」には「Y」と入力します。 変更前の STARTUP.CMD ファイルは STARTUP.BAK ファイルに 保存されます。新しい STARTUP.CMD ファイルで何か問題が発 生した場合は、STARTUP.BAK ファイルから元に戻してくださ い。
- 5. インストールが終了すると、「AXIS Print Utility for OS/2」は自動的に起動し、「Installation of NPS ports」ウィンドウを表示します。

6. 以上でインストールは終了です。

Installation of NPS ports
*
NPS ports
A404G2.LP1 AX1801B0.LP1 AX21A744.LP1 AX2532B0.LP1 AX35443A.LP1 BJC455J.LP1 BJC700J.LP1 FX1802B1.LP1 LBP2030.CM1 LBP2030.LP1
Install Select all Cancel

4.3. アンインストール

- 1. Axis プリントサーバ用に作成したプリンタオブジェクトを削 除します。
- 2. 「LanchPad」のリストをクリックして「ウインドウ・リスト」を 表示します。「AXIS Print Utility」が起動されている場合は終了 させます。

ヹ ウィンドウ・リスト □□	1
デスクトップ-アイコン表示	•
LaunchPad-パレット	
ネットワーク・メッセージーネットワーク・メ	
Axis Print Utility	
J_POCKET-アイコン表示	
PM Camera/2-PM Camera /2 (4 bit per pixel)	

🐴 Axis	Print Util	ity		• 🗆
<u>S</u> tatus	Install	<u>R</u> emove	<u>L</u> ogfile	<u>H</u> elp
PORT		stat	US	
AX104CB	7 IP1	Offl	ine	

3. 「AXPU」関連プログラムをインストールしたディレクトリ(通常 C:¥AXPU)を削除します。



4. 「STARTUP.CMD」ファイルから「AXIS Print Utility for OS/2」関 連のステートメントを削除します。

```
NET START SERVER
@if errorlevel 2 D:¥IBMLAN¥NETPROG¥lserr.exe
SET AXPU=D:¥AXPU
START D:¥AXPU¥AXPU.EXE -M
@EXIT
```

5. 「OS/2」、「LAN Server」を再起動します。

4.4.AXIS Print Utility for OS/2 の使い方

4.4.1. 画面構成と各メニュー

Main Window 「Main Window」にはインストールしたプリンタポートとその状態 が表示されます。通常、この「STATUS」は2分おきに更新されま す。また、「Status」メニューの中の「Refresh」コマンドを実行す ることにより、すぐにプリンタポートの状態を更新することもできます。

Axis Axis F	Print Util	ity			N	•
<u>S</u> tatus	<u>I</u> nstall	<u>R</u> emove	<u>L</u> ogfile	<u>H</u> elp	~	
PORT			STATUS			
AX35443.	A.LP1		Ok			<u> </u>

「STATUS」には、以下の状態が表示されます。

ОК	印刷可能です。
Busy	印刷中です。印刷中のジョブが終わりしだい印 刷されます。
Offline	プリンタがオフラインです。
Occupied	Axis プリントサーバは他のプロトコルによっ て占有されています。
Out of paper	プリンタが用紙切れです。
Internal error	Axis プリントサーバの内部障害などが発生しています。弊社、または販社にご連絡ください。
No response	Axis プリントサーバが応答しません。 プリント サーバの再起動、 ネットワークの障害などを調 べてみてください。

Status メニュー 以下の機能を選択することができます。

Refresh	Axis プリントサーバの状態の更新。
Details	 詳細情報を表示させたいポートを選択し、「Details」 をクリックします。以下の情報が表示されます。 Port Status 製品名 ソフトウェアバージョン

- Install メニュー 「Install」メニューはネットワーク上で稼動している Axis プリント サーバを検索し、「Installation of NPS ports」ダイアログに表示しま す。インストールしたい Axis プリントサーバのプリンタポートを 1つ、または複数選択し、「Install」ボタンをクリックします。
- Removeメ 使用しないプリンタポートを削除します。「Remove」メニューを使 ニュー 用する前に事前にキューとの接続を解除しておく必要があります。 再度インストールする場合は、「Install」メニューを使用します。
- Logfile メ ニュー 「AXIS Print Utility for OS/2」は重要なイベントが起こるたびにログ ファイルを更新します。ログファイル (AXPU.LOG) は、通常「AXIS Print Utility for OS/2」ディレクトリ (C:¥AXPU) にテキストフォー マットで保存されます。必要であれば、「AXIS Print Utility for OS/ 2」以外からも参照、および印刷することができます。



「logfile」メニューでは以下の機能を選択することができます。

View	ログファイルを表示します。
Erase	ログファイルを削除します。
Auto-Truncate	ログファイルは通常、ディスクスペースを節約 するために自動的に上書きされます。すべての イベントを保存するためには、「Auto-Truncate」 オプションのチェックを外すようにします。

5.axinstall (UNIX 環境での設定)

「axinstall」スクリプトは、Axis プリントサーバを UNIX 上にインス トールするためのプログラムです。実行中は、インタラプトキー (通常は、^C)で強制終了することができます。最初に、お使いの システムに関する問い合わせが行なわれ、続いて、個々のプリンタ の設定に関する問い合わせが行なわれます。実際に UNIX システム の設定を変更する前に、最終的な確認が行なわれます。また、イン ストールのログは、/tmp/axis_ プロセス番号_log というファイルに 保存されます。

注意: Axis プリントサーバは日本語フィルタ機能を搭載していません。 「axinstall」を使用し、LPD/FTP/PROS B を利用する方法を選択した場合、印刷 するデータは事前にプリンタが処理できる適切なデータ形式に変換されている 必要があります。日本語 UNIX 環境での設定に関しては、後述する「日本語 UNIX 環境での設定」を参照してください。

5.1.axinstall による自動設定

5.1.1.BSD 系 UNIX の自動設定

以下の例では、実際に SunOS 4.1.4(Solaris 1.1.2)上で「axinstall」ス クリプトを実行しています。。Axis プリントサーバの論理プリンタ に関しては、「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

注意:「axinstall」を使用する場合は、LPDを選択することをお勧めします。

axinstall, version 1.8.3 Mar 31, 1998. Welcome to the Print Server installation program for TCP/IP under UNIX. This program will lead you through a procedure to install Print Servers on your system. You can stop this program with the interrupt key at any time, and an installation log will be saved to a file. axinstall requiers that your Print Server's IP address is defined. Before installation of each printer you will be able to accept or reject the installation. Do you want to continue [yn] ? (default y):

作業を続ける場合は y、終了する場合は n を押し、改行キーを押し ます。このような問い合わせに対し、デフォルトの答えが用意され ている場合があります。ここでは、y がデフォルトの答えです。デフォルトの答えでよい場合は、単に改行キーを押してください。

axinstall

An installation log will be saved in the file /tmp/axis_ ${\cal T}^{
m p} t$ ス番号_log

Your system is identified as being a SunOS 4 (SUN BSD, Solaris 1.x)

Is this correct [yn] ? (default y):

ここでは、使用しているシステムが、SunOS 4(Solaris 1.x) システム と識別されました。正しければ y、間違っていれば n を入力します。

Select a print method from the list below. The recommended basic print method is LPD, for more advanced functionality and status feedback use PROS.

1LPD	
2FTP	
3PROS	P
4PROS	E

Enter choice [1-4] (default 1):

印刷方法を指定します。SunOS 4.x の場合に推奨する印刷方法は、 LPD の方法です。

Enter the host name of your Print Server: salesdept

設定する Axis プリントサーバのホスト名を指定します。ここでは、 salesdept とします。

If you want to print using LPT1 with the default parameter values, choose logical printer '1' for straight-through printing. Choose '5' for printing with UNIX New Line to CR+LF conversion.

Enter logical printer number [1-8] (default 1):

論理プリンタ番号を指定します。デフォルトのパラメータ設定で、 プリンタとの接続ロが一つしかないプリントサーバや、プリンタと の接続ロが三つあるプリントサーバのLPT1 ポートを利用して印刷 する場合は1を選択し、UNIX の改行を DOS の改行に変換して印 刷する場合は5を選択します。同様に、プリンタとの接続ロが三つ あるプリントサーバの LPT2 ポートを利用する場合は、それぞれ、 2 と 6、COM1 ポートを利用する場合は、それぞれ、3 と 7 を入力 します。

Enter printer name (default salesdept-pr):

プリンタ名を指定します。この名前は、lpr コマンドの「-P」オプ ションに指定するものです。

Enter spool directory name (default /var/spool/lpd/salesdept-pr):

スプールディレクトリ名を指定します。スプールディレクトリは、 個々のプリンタで異なる場所を利用する必要があります。複数のプ リンタで同じスプールディレクトリを共有すると、プリントジョブ が消える等の問題が発生する原因にもなります。

Enter log file name (default /var/spool/lpd/salesdept-pr/log):

ログファイル名を指定します。複数のプリンタで同じログファイル を共有しても構いませんが、問題が起きた際の解決を容易にするた めにも、個々のプリンタで異なるファイルを利用した方が良いで しょう。

Enter printcap file name (default /etc/printcap):

printcap ファイル名を指定します。通常は、/etc/printcap ファイルの はずです。

LPD の場合の作業

Print Server host name: salesdept Logical printer: prl Printer name: salesdept-pr Spool directory: /var/spool/lpd/salesdept-pr Log file: /var/spool/lpd/salesdept-pr/log Printcap file: /etc/printcap The printcap file will be modified The spool directory will be created The log file will be created

Do you want to install this printer [yn] ? (default y):

以上の問い合わせに対し、デフォルトの答えを選択した場合の最終 確認の画面です。ここでは、以降で printcap が変更され、スプール ディレクトリ、ログファイルが作成されます。この問い合わせに対 してyを入力すると、実際にインストール作業が始まり、お使いの システムの設定が変更されます。

FTP の場合の作業

Enter FTP filter directory: (default /usr/local/lib/axis):

FTP フィルタを置くディレクトリを指定します。

----- Printer setup -

Print Server host name: salesdept Logical printer: pr1 Printer name: salesdept-pr Spool directory: /var/spool/lpd/salesdept-pr Log file: /var/spool/lpd/salesdept-pr/log Printcap file: /etc/printcap FTP filter directory: /usr/local/lib/axis The printcap file will be modified The spool directory will be created The log file will be created The FTP filter directory will be created.

Do you want to install this printer [yn] ? (default y):

以上の問い合わせに対し、デフォルトの答えを選択した場合の最終 確認の画面です。ここでは、以降で printcap が変更され、スプール ディレクトリ、ログファイル、FTP フィルタディレクトリが作成さ れます。この問い合わせに対して y を入力すると、実際にインス トール作業が始まり、お使いのシステムの設定が変更されます。

PROSAの場合の作業

Enter PROS daemon directory (default /usr/local/lib/axis):

PROS デーモンを置くディレクトリを指定します。

Enter PROS daemon pipe: (default /dev/salesdept.pr1):

PROS デーモンのための名前付きパイプを指定します。

Enter PROS log file: (default /usr/local/lib/axis/prosd-log):

PROS のためのログファイルを指定します。複数の PROS デーモン で同じログファイルを共有しても構いませんが、問題が起きた際の 解決を容易にするためにも、個々の PROS デーモンで異なるファイ ルを利用した方が良いでしょう。

Compile the PROS daemon [yn] ? (default y):

PROSデーモンをコンパイルするかどうかを指定します。PROSデー モンのソースプログラムはプログラミング言語 C で記述されてい ます。使用しているシステム上にCコンパイラがない場合は、PROS A の方法を利用することができません。以降で何らかの理由により PROS デーモンのコンパイルに失敗した場合は、再度「axinstall」ス クリプトを実行し、この問い合わせにnを入力し、後で PROS デー モンを手作業でコンパイルしてください。それ以外はyを入力しま す。

Start the PROS daemon [yn] ? (default y):

PROS デーモンを起動するかどうかを指定します。上で、PROS デー モンの自動コンパイルを指定した場合、また、すでに PROS デーモ ンをコンパイル済みの場合は y を入力します。それ以外は n を入力 し、後で PROS デーモンを手作業で起動してください。UNIX の ブート時に PROS デーモンを自動的に起動するには、システム上の /etc/rc.local 等のファイルを変更する必要があります。
----- Printer setup -----Print Server host name: salesdept Logical printer: pr1 salesdept-pr Printer name: Spool directory: /var/spool/lpd/salesdept-pr Log file: /var/spool/lpd/salesdept-pr/log Printcap file: /etc/printcap PROS daemon directory: /usr/local/lib/axis PROS daemon pipe: /dev/salesdept.pr1 PROS daemon log file: /usr/local/lib/axis/prosd-log The printcap file will be modified The spool directory will be created The log file will be created The PROS daemon directory will be created The PROS daemon pipe will be created The PROS daemon log file will be created The PROS daemon will be compiled The PROS daemon will be started

Do you want to install this printer [yn] ? (default y):

以上の問い合わせに対し、デフォルトの答えを選択した場合の最終 確認の画面です。ここでは、以降で printcap が変更され、スプール ディレクトリ、ログファイル、PROS デーモンディレクトリ、PROS デーモンパイプ、PROS デーモンログファイルが作成されます。ま た、PROS デーモンがコンパイルされ、起動されます。この問い合 わせに対して y を入力すると、実際にインストール作業が始まり、 お使いのシステムの設定が変更されます。

PROS Bの場合の作業

Enter PROS filter directory: (default /usr/local/lib/axis):

PROS フィルタを置くディレクトリを指定します。

Is PROS filter input or output? [io] (default o):

PROS フィルタを入力フィルタ (if) として利用する場合は i、出力 フィルタ (of) として利用する場合は o を指定します。

注意:通常、PROS フィルタは、出力フィルタとして利用します。出力フィルタ は、ヘッダページ、ファイル間の改ページ文字を処理することができます。各 プリントジョブに対するユーザ名とホスト名を Axis プリントサーバのアカウン トファイルに表示させたい場合は、PROS フィルタを入力フィルタとして利用し ます。

Print setup Print Server host name: salesdept Logical printer: prl Printer name: salesdept-pr Spool directory: /var/spool/lpd/salesdept-pr Log file: /var/spool/lpd/salesdept-pr/log Printcap file: /etc/printcap PROS filter directory: /usr/local/lib/axis PROS filter is output filter The printcap file will be modified The spool directory will be created The log file will be created The PROS filter directory will be created.

Do you want to install this printer $\mbox{[yn]}$? (default y):

以上の問い合わせに対し、デフォルトの答えを選択した場合の最終 確認の画面です。ここでは、以降で printcap が変更され、スプール ディレクトリ、ログファイル、PROS フィルタディレクトリが作成 されます。この問い合わせに対して y を入力すると、実際にインス トール作業が始まり、お使いのシステムの設定が変更されます。

LPD、FTP、PROS A、PROS B で共通の作業

Checking setup, wait ... No conflicts found Setup check done.

Installing printer salesdept-pr...

Installation of printer salesdept-pr done.

Do you want a test printout [yn] ? (default y): ${\bf n}$

以上の設定に矛盾がないかどうかを検査し、矛盾がなければインス トール作業が始まります。何か回復可能な(ファイル名、ディレク トリ名等の)重複が発見された場合は、確認が行なわれます。回復 不可能な矛盾が発見された場合は、最初から設定をやり直すことに なります。

プリンタのインストール後、テスト印刷を行うかどうかの問い合わ せが行なわれます。インストールのログファイルが印刷されます。 このファイルは単なるASCIIテキストですから、一般的なPostScript プリンタには印刷することはできません。また、改ページ文字も含 まれていませんので、LIPS プリンタ等のページプリンタに印刷し た場合は、完全に印刷データがプリンタ側のバッファに格納された ことを確認した後、紙の強制排出を行ってください。ESC/P、PC-201H 等のプリンタには正常に印刷することができます。

Do you want to install more printers $[{\tt yn}]$? (default n):

プリンタのインストール作業を終了する場合はn、続けて他のプリンタをインストールする場合はyを入力します。

An installation log is saved in the file /tmp/axis_ $\mathcal{T}^{\mu} t \rtimes \mathcal{A} \# \beta_{-} \log$.

以上でインストール作業は完了です。インストールのログは、/tmp/ axis プロセス番号 log というファイルに保存されます。

LPD、FTP、PROS A、PROS B それぞれの場合のログファイルのサ ンプルを以下に示します。

LPD の場合

FTP の場合

Installation of printer salesdept-pr done.

PROS A の場合

Installing printer salesdept-pr. saved file /etc/printcap in file /tmp/ プロセス番号_saved_pcap. Modifying printcap file /etc/printcap, installed following printcap entry: salesdept-pr| Network printer on Print Server salesdept using PROS A:\
 :lp=/dev/salesdept.pr1:\ :sd=/var/spool/lpd/salesdept-pr:\ :lf=/var/spool/lpd/salesdept-pr/log:\ ::\ :sh: Created spool directory /var/spool/lpd/salesdept-pr. Created log file /var/spool/lpd/salesdept-pr/log. Created pros daemon log file /usr/local/lib/axis/prosd-log. Made prosd pipe /dev/salesdept.pr1. Started prosd for device /dev/salesdept.pr1. Started prosd in directory /usr/local/lib/axis with command: nohup /usr/local/lib/axis/prosd unix00 /dev/salesdept.pr1 salesdept pr1 netprinter 2> /usr/local/lib/axis/prosd-log 1>&2 & If you want the PROS daemon to start automatically at system reboot then add the following line to /etc/inittab: id01::respawn:/usr/local/lib/axis/prosd unix00 /dev/salesdept.pr1 salesdept pr1 netprinter 2> /usr/local/lib/axis/prosd-log 1>&2

Installation of printer salesdept-pr done.

PROS B の場合

Installation of printer salesdept-pr done.

5.1.2.System V 系 UNIX の自動設定

以下の例では、実際に Solaris 2.6(SunOS 5.6)上で「axinstall」スク リプトを実行しています。。Axis プリントサーバの論理プリンタに 関しては、「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

注意:「axinstall」を使用する場合は、LPDを選択することをお勧めします。また、Solaris 2.6 上で Axis プリントサーバの設定をする場合は、後述する「日本語 UNIX 環境での設定」も参照してください。

axinstall, version 1.8.3 Mar 31, 1998.

Welcome to the Print Server installation program for TCP/IP under UNIX.

This program will lead you through a procedure to install Print Servers on your system. You can stop this program with the interrupt key at any time, and an installation log will be saved to a file. axinstall requiers that your Print Server's IP address is defined. Before installation of each printer you will be able to accept or reject the installation.

Do you want to continue [yn] ? (default y):

作業を続ける場合は y、終了する場合は n を押し、改行キーを押し ます。このような問い合わせに対し、デフォルトの答えが用意され ている場合があります。ここでは、y がデフォルトの答えです。デ フォルトの答えでよい場合は、単に改行キーを押してください。

axinstall

An installation log will be saved in the file /tmp/axis_ $\mathcal{T}^{\mu}\mathcal{TX}$

Your system is identified as being a SunOS 5 (SUN SYS V, Solaris 2.x) Is this correct [yn] ? (default y):

ここでは、使用しているシステムが、SunOS 5(Solaris 2.x) システム と識別されました。正しければ y、間違っていれば n を入力します。

Select a print method from the list below. The recommended basic print method is LPD, for more advanced functionality and status feedback use PROS.

1.				.LPD	
2.				.FTP	
3.				.PROS	A
4.				.PROS	В

Enter choice [1-3] (default 1):

印刷方法を指定します。SunOS 5.x の場合に推奨する印刷方法は、 LPD の方法です。

Enter the host name of your Print Server: salesdept

設定する Axis プリントサーバのホスト名を指定します。ここでは、 salesdept とします。

If you want to print using LPT1 with the default parameter values, choose logical printer '1' for straight-through printing. Choose '5' for printing with UNIX New Line to CR+LF conversion.

Enter logical printer number [1-8] (default 1):

論理プリンタ番号を指定します。デフォルトのパラメータ設定で、 プリンタとの接続ロが一つしかないプリントサーバや、プリンタと の接続ロが三つあるプリントサーバのLPT1 ポートを利用して印刷 する場合は1を選択し、UNIX の改行を DOS の改行に変換して印 刷する場合は5を選択します。同様に、プリンタとの接続ロが三つ あるプリントサーバの LPT2 ポートを利用する場合は、それぞれ、 2と6、COM1 ポートを利用する場合は、それぞれ、3と7を入力 します。

Enter printer name (default salesdept_pr):

プリンタ名を指定します。この名前は、lp コマンドの「-d」オプ ションに指定するものです。

LPD の場合の作業

Print Server host name: salesdept Logical printer: pr1 Printer name: salesdept_pr

----- Printer setup -----

Do you want to install this printer $\ensuremath{\left[yn \right]}$? (default y):

以上の問い合わせに対し、デフォルトの答えを選択した場合の最終 確認の画面です。この問い合わせに対して y を入力すると、実際に インストール作業が始まり、お使いのシステムの設定が変更されま す。

FTP の場合の作業

Enter FTP filter directory: (default /usr/local/lib/axis):

FTP フィルタを置くディレクトリを指定します。

----- Printer setup -----

Print Server host name: salesdept Logical printer: pr1 Printer name: salesdept_pr FTP filter directory: /usr/local/lib/axis

The FTP filter directory will be created.

Do you want to install this printer $\mbox{[yn]}$? (default y):

以上の問い合わせに対し、デフォルトの答えを選択した場合の最終 確認の画面です。ここでは、以降で FTP フィルタディレクトリが 作成されます。この問い合わせに対して y を入力すると、実際にイ ンストール作業が始まり、お使いのシステムの設定が変更されま す。

PROS A の場合の作業

The PROS A method allows the use of any printer model script in the '/usr/spool/lp/model/' directory. Enter model script name (default standard):

/usr/spool/lp/model ディレクトリ中のモデルファイルを指定します。

Enter PROS daemon directory (default /usr/local/lib/axis):

PROS デーモンを置くディレクトリを指定します。

Enter PROS daemon pipe: (default /dev/salesdept.pr1):

PROS デーモンのための名前付きパイプを指定します。

Enter PROS log file: (default /usr/local/lib/axis/prosd-log):

PROS のためのログファイルを指定します。複数の PROS デーモン で同じログファイルを共有しても構いませんが、問題が起きた際の 解決を容易にするためにも、個々の PROS デーモンで異なるファイ ルを利用した方が良いでしょう。 Compile the PROS daemon $[{\tt yn}]$? (default y):

PROSデーモンをコンパイルするかどうかを指定します。PROSデー モンのソースプログラムはプログラミング言語 C で記述されてい ます。使用しているシステム上にCコンパイラがない場合は、PROS A の方法を利用することができません。以降で何らかの理由により PROS デーモンのコンパイルに失敗した場合は、再度「axinstall」ス クリプトを実行し、この問い合わせに n を入力し、後で PROS デー モンを手作業でコンパイルしてください。それ以外は y を入力しま す。

Start the PROS daemon [yn] ? (default y):

PROS デーモンを起動するかどうかを指定します。上で、PROS デー モンの自動コンパイルを指定した場合、また、すでに PROS デーモ ンをコンパイル済みの場合は y を入力します。それ以外は n を入力 し、後で PROS デーモンを手作業で起動してください。UNIX の ブート時に PROS デーモンを自動的に起動するには、システム上の /etc/rc3.d 等のディレクトリ下にシェルスクリプトを置き、その中で PROS デーモンを起動するようにする必要があります。

Print Server host name: salesdept Logical printer: pr1 Printer name: salesdept_pr PROS daemon directory: /usr/local/lib/axis PROS daemon pipe: /dev/salesdept.pr1 PROS daemon log file: /usr/local/lib/axis/prosd-log The PROS daemon directory will be created The PROS daemon pipe will be created The PROS daemon log file will be created The PROS daemon log file will be created The PROS daemon will be compiled The PROS daemon will be started

----- Printer setup

Do you want to install this printer [yn] ? (default y):

以上の問い合わせに対し、デフォルトの答えを選択した場合の最終 確認の画面です。ここでは、以降で PROS デーモンディレクトリ、 PROS デーモンパイプ、PROS デーモンログファイルが作成されま す。また、PROS デーモンがコンパイルされ、起動されます。この 問い合わせに対して y を入力すると、実際にインストール作業が始 まり、お使いのシステムの設定が変更されます。

PROS Bの場合の作業

Enter PROS filter directory: (default /usr/local/lib/axis):

PROS フィルタを置くディレクトリを指定します。

----- Printer setup -----

Print Server host name: salesdept Logical printer: pr1 Printer name: salesdept_pr PROS filter directory: /usr/local/lib/axis

The PROS filter directory will be created.

Do you want to install this printer $\ensuremath{\left[yn \right]}$? (default y):

以上の問い合わせに対し、デフォルトの答えを選択した場合の最終 確認の画面です。ここでは、以降で PROS フィルタディレクトリが 作成されます。この問い合わせに対して y を入力すると、実際にイ ンストール作業が始まり、お使いのシステムの設定が変更されま す。

LPD、FTP、PROS A、PROS B で共通の作業

Checking setup, wait ... No conflicts found Setup check done.

Installing printer salesdept_pr...

destination "salesdept_pr" now accepting requests printer "salesdept_pr" now enabled Installation of printer salesdept_pr done.

Do you want a test printout [yn] ? (default y): **n**

以上の設定に矛盾がないかどうかを検査し、矛盾がなければインス トール作業が始まります。何か回復可能な(ファイル名、ディレク トリ名等の)重複が発見された場合は、確認が行なわれます。回復 不可能な矛盾が発見された場合は、最初から設定をやり直すことに なります。

プリンタのインストール後、テスト印刷を行うかどうかの問い合わ せが行なわれます。インストールのログファイルが印刷されます。 このファイルは単なるASCIIテキストですから、一般的なPostScript プリンタには印刷することはできません。また、改ページ文字も含 まれていませんので、LIPS プリンタ等のページプリンタに印刷し た場合は、完全に印刷データがプリンタ側のバッファに格納された ことを確認した後、紙の強制排出を行ってください。ESC/P、PC-201H 等のプリンタには正常に印刷することができます。

Do you want to install more printers $[{\tt yn}]$? (default n):

プリンタのインストール作業を終了する場合はn、続けて他のプリンタをインストールする場合はyを入力します。

An installation log is saved in the file /tmp/axis_ $\mathcal{T}^{\mu}\mathcal{T}\mathcal{X}\overline{\mathscr{A}}\mathcal{F}_\mathrm{log}.$

以上でインストール作業は完了です。インストールのログは、/tmp/ axis_ プロセス番号_log というファイルに保存されます。 LPD、FTP、PROS A、PROS B それぞれの場合のログファイル、 lpstat コマンドの出力のサンプルを以下に示します。

LPD の場合

Installing printer salesdept_pr.
"salesdept" has been added. used lpsystem to add(modify) an entry for salesdept in /etc/lp/Systems installed salesdept pr with lpadmin using remote system name salesdept and remote printer name pr1

Installation of printer salesdept_pr done.

% lpstat -t scheduler is running no system default destination system for salesdept_pr: salesdept (as printer pr1) salesdept_pr accepting requests since Fri Dec 1 13:21:36 JST 1995 printer salesdept_pr is idle. enabled since Fri Dec 1 13:21:36 JST 1995. available.

% lpstat -1 -p

printer salesdept_pr is idle. enabled since Fri Dec 1 13:21:36 JST 1995. available. Content types: any Printer types: unknown Description: Users allowed: (all) Forms allowed: (none) Banner not required Character sets: (none) Default pitch: Default page size:

FTP の場合

```
Installing printer salesdept_pr.
Created directory /usr/local/lib/axis.
Placed ftp salesdept pr in directory /usr/local/lib/axis.
installed salesdept_pr with lpadmin using interface
/usr/local/lib/axis/ftp_salesdept_pr.
device used is /dev/null (dummy device)
```

Installation of printer salesdept_pr done.

(none) Default pitch: Default page size:

```
% lpstat -t
scheduler is running
no system default destination
device for salesdept_pr: /dev/null
salesdept_pr accepting requests since Fri Dec 1 13:37:24 JST 1995
printer salesdept_pr is idle. enabled since Fri Dec 1 13:37:25 JST 1995. available.
% lpstat -1 -p
printer salesdept_pr is idle. enabled since Fri Dec 1 13:37:25 JST 1995. available.
        Form mounted:
        Content types: simple
        Printer types: unknown
        Description:
        Connection: direct
        Interface: /usr/local/lib/axis/ftp_salesdept_pr
        On fault: write to root once
        After fault: continue
        Users allowed:
                (all)
        Forms allowed:
                (none)
        Banner required
        Character sets:
```

Default port settings:

PROS A の場合

----- Print Server installation log ------Installing printer salesdept pr. Compiled prosd in directory /usr/local/lib/axis. If you want the PROS daemon to start automatically at system reboot then add the following line to /etc/inittab: id01::respawn:/usr/local/lib/axis/prosd ultra1 /dev/salesdept.pr1 salesdept pr1 netprinter 2> /usr/local/lib/axis/prosd-log 1>&2 Note! The ID string 'id01' must be four (4) characters long and individual for every entry in /etc/inittab. On some systems, the /etc/inittab file is recreated each time the system is booted, erasing the entries you just added. To cure this problem, put the added lines in a separate file in the /etc/conf/init.d directory as well. Any file name will do, such as /etc/conf/init.d/printer-init. Made prosd pipe /dev/salesdept.pr1. Started prosd for device /dev/salesdept.pr1. Started prosd in directory /usr/local/lib/axis with command: nohup /usr/local/lib/axis/prosd ultra1 /dev/salesdept.pr1 salesdept pr1 netprint er 2> /usr/local/lib/axis/prosd-log 1>&2 & If you want the PROS daemon to start automatically at system reboot then add the following line to /etc/inittab: id01::respawn:/usr/local/lib/axis/prosd ultra1 /dev/salesdept.pr1 salesdept pr1 netprinter 2> /usr/local/lib/axis/prosd-log 1>&2 installed salesdept_pr with lpadmin using standard model on device /dev/salesdep t.pr1. Installation of printer salesdept_pr done. % lpstat -t scheduler is running no system default destination device for salesdept_pr: /dev/salesdept.pr1 salesdept_pr accepting requests since Mon Aug 17 16:49:06 JST 1998 printer salesdept_pr is idle. enabled since Mon Aug 17 16:49:06 JST 1998. available. % lpstat -l -p printer salesdept pr is idle. enabled since Mon Aug 17 16:49:06 JST 1998. available. Form mounted: Content types: simple Printer types: unknown Description: Connection: direct Interface: /usr/lib/lp/model/standard On fault: write to root once After fault: continue Users allowed: (all) Forms allowed: (none) Banner required Character sets: (none) Default pitch: Default page size: Default port settings: PROS B の場合

Installing printer salesdept_pr. Created directory /usr/local/lib/axis. Compiled pros_salesdept_pr in directory /usr/local/lib/axis. installed salesdept_pr with lpadmin using interface /usr/local/lib/axis/pros_salesdept_pr. device used is /dev/null (dummy device).

```
Installation of printer salesdept_pr done.
% lpstat -t
scheduler is running
no system default destination
device for salesdept pr: /dev/null
salesdept_pr accepting requests since Fri Dec 1 21:04:17 JST 1995
printer salesdept_pr is idle. enabled since Fri Dec 1 21:04:18 JST 1995. available.
% lpstat -1 -p
printer salesdept_pr is idle. enabled since Fri Dec 1 21:04:18 JST 1995. available.
        Form mounted:
        Content types: simple
        Printer types: unknown
        Description:
        Connection: direct
        Interface: /usr/local/lib/axis/pros_salesdept_pr
        On fault: write to root once
        After fault: continue
        Users allowed:
                (all)
        Forms allowed:
                (none)
        Banner required
        Character sets:
                (none)
        Default pitch:
        Default page size:
        Default port settings:
```

5.2. 日本語 UNIX 環境での設定(手動設定)

ここでは、以下の各 UNIX システムについて、それぞれの UNIX シ ステムが持つ機能(ツール)を利用して Axis プリントサーバ、お よびプリンタの設定を行なう手順について説明します。各 UNIX シ ステムの機能(ツール)の詳細は、それぞれの UNIX システムのマ ニュアルなどを参照してください。

5.2.1.AIX 4.x

IBM AIX 4.x上でプリントデータをクライアント(AIX 4.x)側でフィ ルタリングしてから Axis プリントサーバ側の lpd へ渡す設定につ いて説明します。

この手順ではAxisプリントサーバに付属の「axinstall」は使用しません。プリンタの設定は全て「SMIT」から行ないます。

以下の例ではIBM AIX 4.1.5からLPDを利用してAxisプリントサー バ経由で Canon LIPS 系プリンタへ印刷するための手順について説 明します。

注意: AIX 4.2.1 では、「SMIT」上のメニュー名などが一部変更されています。 AIX 4.2.1 で変更されている名称については、その都度記述しています。また、 AIX 4.x が対応していない日本語プリンタ(フィルタ)については以下の設定を 行なっても日本語の印刷はできません。AIX 4.x 上に利用するプリンタに対応す るフィルタがあるかどうかは AIX のマニュアルなどを参照してください。 Axis プリント 「ユーザーズマニュアル」を参照してホストテーブルの編集、Axis サーバの IP ア プリントサーバの IP アドレス設定を行ないます。 ドレス設定

 SMIT を使用し
 AIX 4.x 付属の「SMIT」を使用してプリンタの設定を行ないます。

 たプリンタの設
 1. AIX 4.x 上で「SMIT」を起動します。

- 2. 「印刷スプーリング」メニューを選択します。
- 3. 「印刷待ち行列の追加」メニューを選択します。(AIX 4.2.1:「印 刷キューの追加」)
- 4. ここまで、選択するとキューのタイプを選択する画面になりま す。「remote」を選択します。

	# 接続タイプ local remote xstation ascii hpJetDirect file other	記述 ローカル・ホストに リモート・ホストに Xstation に接続され ASCII 通末に接続され ネットワーク・プリ ファイル (/dev デ・ ユーザ定義バックエ	接続されたプリンタ 接続されたプリンタ いたプリンタ れたプリンタ ンタ(HP JetDirect) ィレクトリ内) ンド	
--	---	--	---	--

5. 次にリモート印刷のタイプを選択する画面が表示されます。こ こで「印刷サーバに送信する前にローカル・フィルタ処理を行 なう」を選択します。



6. ここまで選択すると次のような画面が表示されます。ここで使用するプリンタ・メーカを選択します。この例では「Canon」を選択します。

	項目を選択してく ンタのタイプ	ださい。	
Bull Canon Dataproducts Hewlett-Packa IBM OKI Printronix OMS Texas Instrum その他(上記)	rd ents こリストされていた	ない場合に選択して	ください)
取消し	検索	法在検索	ヘルプ

7. 次の画面で使用するプリンタを選択します。この例ではCanlbp-B406Gを選択します。

canlbp canlbp-A404PS canlbp-B406G その他(上記に	Canon Laser Shot Canon LASER SHOT Canon LASER SHOT リストされていない	LBP-B406/S/D/E,A4 LBP-A404PS/Lite LBP-B406G -場合に選択してくた	04/E, A304E ごさい)

8. ここまで選択すると、次のような画面が表示されます。

記述	Canon LASER SHOT LBP-B406G	
追加する新しい印刷待ち行列名		
Canon Laser Shot LIPS 11+ Canon Laser Shot 11PS 111	a404e2 Ind	
リモート・サーバ特性		
* リモート・サーバのホスト名	test09	
* リモート・サーバ上の待ち行列名	prŽ	जिल्ला जिल्ल
リモート・サーバ上の印刷スノーフのダイノ リモート・サーバ上の待ち行列に パススルー・フラグを送信する	024 값い	
 了解Command	リセット 取消し	?
英数 半角		

- ここで「追加する新しい印刷待ち行列名」(AIX 4.2.1:「追加する新規印刷キュー名」)にはキュー名を入力します。この例では「a404g2_lpd」と入力しています。「リモート・サーバのホスト名」には Axis プリントサーバに設定したホスト名、またはIP アドレスを入力します。この例ではホスト名「test09」と入力しています。「リモート・サーバ上の待ち行列名」(AIX 4.2.1:「リモート・サーバ上のキュー名」)には Axis プリントサーバの論理プリンタ名を入力します。通常、デフォルトでは Axis プリントサーバのLPT1 ポートに接続したプリンタに出力する場合は「pr1」、LPT2 ポートに接続したプリンタに出力する場合は「pr2」、COM1 ポートに接続したプリンタに出力する場合は「pr3」と入力します。論理プリンタの詳細については「ユーザーズマニュアル」を参照して下さい。この例では「pr2」を選択しています。「リモート・サーバ上の印刷スプーラのタイプ」には「BSD」を選択します。
- 10.「了解」ボタンをクリックし、正常に設定されることを確認し ます。
- 11.「SMIT」を終了します。

5.2.2.HP-UX 10.xx

HP-UX(Ver.10.10 以降)上で提供される「setnetlp」ツールを使用して、既存の MODEL ファイルを利用し Axis プリントサーバへの印刷方法に LPD を利用する際の設定方法について説明します。 以下の例では HP-UX(ver.10.20) から Axis プリントサーバ経由で「Canon LBP850」に印刷するものとします。

Axis プリント 「ユーザーズマニュアル」を参照してホストテーブルの編集、Axis サーバの IP ア プリントサーバの IP アドレス設定を行ないます。

ドレス設定

setnetlp ツール を使用したプリ ンタの設定 「setnetlp」ツールには、コマンドラインにオプションを指定して実 行する方法と、対話形式で実行する方法があります。詳細は、HP-UX の「日本語環境ユーザーズ・ガイド」を参照してください。以 下の例では対話形式でプリンタの設定を行なっています。

- 1. root に su します。
- 2. /usr/sbin/setnetlpを実行します。以下のメニューが表示されます。

#/usr/sbin/setnetlp
######################################
Network Printer Configuration #
1) Add Printer 2) Remove Printer
q) Quit
Please enter a selection:

3. "1) Add Printer" を選択します。以下の設定メニューが表示されます。

Please enter a selection: 1						
Configurable Parameters:	Current Settings					
0) Done. Make Configuration	n now!					
1) Lp destination name: [(N/A)]						
2) Remote System name: [(N/A)]						
3) Remote Printer name:	[(N/A)]					
4) Local Model Script: [(N/A)]						
q) Quit						
Select an item for change or	select "0":					

4. "1) Lp destination name:" を選択します。現在設定されているプリンタの一覧が表示されます。「Please enter a lp destination

name:」の後に、設定したいプリンタ名を入力します。この例では「lbp850」としています。

Select an item for change or select "0":1

Currently used names:

lj4v540_1 lj4vmio_1

Please enter a lp destination name: lbp850

 "2) Remote System name:" を選択します。「Please enter a remote system name/IP address:」の後に、Axis プリントサーバに設定し た IP アドレス、またはホスト名を入力します。この例ではホ スト名に「lbp850」を入力しています。

Select an item for change or select "0":2 Please enter a remote system name/IP address: lbp850

"3) Remote Printer name:"を選択します。「Please enter a remote printer name:」の後に、Axis プリントサーバの論理プリンタ名 (pr1~pr8)を入力します。通常、Axis プリントサーバのパラレルポート LPT1 に出力する場合は「pr1」、LPT2 に出力する場合は「pr2」、シリアルポート COM1 に出力する場合は「pr3」と入力します。AXIS 5400 などのプリンタ直結タイプのモデルは「pr1」と入力します。

Select an item for change or select "0":3 Please enter a remote printer name: pr1

 "4) Local Model Script:"を選択します。モデルファイルのリスト とプロンプトが表示されます。「Please enter a model file:」の後 に、使用するモデルファイル名を入力します。Canon LIPS 系プリンタに出力する場合は、LIPS4(LIPS3)を選択します。

Select an item for change or select "0":4 Valid Models:						
ESCP	colorpro	hp2228a	hp2934a	laserjet4		
HPGL1 deskjet hp2235a hp33440a laserjet4Si						
HPGL2 deskjet1200C hp2276a hp33447a laserjet4v						
HPGL2.cent deskjet1600CM hp2300-1100L hp3630a						
laserjet5Si						
LIPS3	deskjet500	hp2300-840	L hp5000c3	0 laserjetIIISi		
LIPS4	deskjet500C	hp2560	hp5000f100) paintjet		
PCL1	deskjet550C	hp2563a	hp7440a	paintjetXL300		
PCL2	deskjet850C	hp2564b	hp7475a	postscript		
PCL3	deskjet855C	hp2565a	hp7550a	quietjet		
PCL4	draftpro	hp2566b	hp7570a	rmodel		
PCL4.nloo	dumb	hp2567b	hp7595a	rmodel.asx		
PCL5	dumbplot	hp256x.cent	hp7596a	ruggedwriter		
PCL5.asian fonts hp2631g hpC1208a thinkjet						
PCL5.nloo	hp2225a	hp2684a	hpc1200aj			
PS.nlio	hp2225d	hp2686a	hpc1208a			
colorlaserjet	t hp2227a	hp2932a	laserjet			
Please enter a model file:						

注意: 通常、日本語ポストスクリプトプリンタに出力する場合は、PS.nlio を 選択します。

8. ここまでの設定が終了すると、メニューは以下のようになります。

Please enter a model file: LIPS4						
Configurable Parameters:	Current Settings					
8	8					
0) Done. Make Configuration now!						
1) Lp destination name:	[lbn850]					
a) D a contraction nume.						
2) Remote System name:	[16p850]					
3) Remote Printer name:	[pr1]					
1) Local Model Script:						
4) Local Model Script.						
a) Ouit						
q) Quit	y) Quit					
Select an item for change or select "0":						

 設定した内容を確認し、"0) Done. Make Configuration now!:" を 選択します。次のメッセージ、およびプロンプトが表示されま す。

Select an item for change or select "0":0

WARNING: This operation requires lp spooler be shut down. The spooler will be running again after this operation is done. If there are jobs currently being printed, those are reprinted in their entirely after spooler is started again.

OK to continue? (y/n, default-n):

10. 処理を続ける場合は、「y」を入力します。つぎのメッセージが 表示されます。

OK to continue? (y/n, default-n): y

Printer, lbp850, has been added. Press the return-key to return to configuration menu...

11. リターン・キーを押すと最初の設定メニューに戻ります。

Configurable Parameters:	Current Settings				
0) Done. Make Configuration	now!				
1) Lp destination name:	[lbp850]				
2) Remote System name:	[lbp850]				
3) Remote Printer name:	[pr1]				
4) Local Model Script:	[LIPS4]				
q) Quit					
Select an item for change or select "0":					

12. "q"を2回入力して setnetlp スクリプトを終了します。

テスト印刷 ファイルを印刷して正常に印刷されることを確認します。 日本語の文字が入ったテキストファイルを lp スプーラでプリント する場合、以下の2つのオプションのうち一方が必要です。

文字コード	lp オプション
シフトJIS	japanese

この例では、日本語 EUC の文章を lbp850 に出力しています。

lp -d lbp850 -ojapanese.euc /usr/newconfig/RelNotes/PRINTER-JPN-E request id is lbp850-2 (1 file)

5.2.3.Solaris 2.6

	Solaris 2.6 から日本語 PostScript プリンタ、日本語ページプリンタ に印刷するための手順について説明します。		
Axis プリント サーバの IP ア ドレス設定	「ユーザーズマニュアル」を参照してホストテーブルの編集、Axis プリントサーバの IP アドレス設定を行ないます。		
/user/lib/lp/ model/ netstandard の 編集	常にバナーページを印刷しないようにするために、/usr/lib/lp/model/ netstandard ファイルを編集し、以下の部分を「no」から「yes」に 変更します		
	#### # default: do print a banner #### nobanner=yes "no" → "yes" に変更 nofilebreak="no" inlist=		
日本語 Post- Script プリンタ の設定	 以下の例では、「Canon LBP730PS」を Solaris 上で設定するプリン タ名として「lbp730ps」で登録します。 1. root に su します。 2. lpadmin コマンドを使用し、プリンタの設定を行ないます。 		
	<pre># lpadmin -p lbp730ps -v /dev/null # lpadmin -p lbp730ps -i /usr/lib/lp/model/netstandard</pre>		
	3. 次の lpadmin コマンドでは、使用する Axis プリントサーバのホ スト名を「lbp730ps」、使用する論理プリンタ名を「pr1」とし ています。通常、Axis プリントサーバのパラレルポート LPT1 に出力する場合は「pr1」、LPT2 に出力する場合は「pr2」、シリ		

アルポート COM1 に出力する場合は「pr3」と入力します。AXIS 5400などのプリンタ直結タイプのモデルは「prl」と入力します。 # lpadmin -p lbp730ps -o dest=lbp730ps:pr1 -o protocol=bsd -o timeout:15 (注意:ホスト名とプリンタ名の間にはコロン「:」が必要です) # lpadmin -p lbp730ps -I postscript -T PS # accept lbp730ps destination "lbp730ps" now accepting requests # enable lbp730ps printer "lbp730ps" now enabled # lpstat -p lbp730ps -l printer lbp730ps is idle. enabled since 1998 年 12 月 10 日 (木) 21 時 15 分 43 秒 JST. av ailable. Form mounted: Content types: postscript Printer types: PS Description: Connection: direct Interface: /usr/lib/lp/model/netstandard On fault: write to root once After fault: continue Users allowed: (all) Forms allowed: (none) Banner required Character sets: Default pitch: Default page size: 80 wide 66 long Default port settings: Options: dest=lbp730ps:pr1, protocol=bsd #

4. 次にテキストファイル印刷フィルタを登録します。

cd /etc/lp/fd # lpfilter -x -f postscript この時、以下のメッセージが表示されても無視して次に進みま す。 UX:lpfilter: エラー : No filter by the name "postscript" exists. TO FIX: Check the name again. # lpfilter -f jpostprint -F jpostprint.fd 5. ここまでの手順が終了すると、日本語 PostScript プリンタから 印刷できるようになります。

日本語ページプ リンタ(Canon LIPS プリンタ) の設定

以下の例では、「Canon LBP850」を Solaris 上で設定するプリンタ名 として「lbp850」で登録します。

注意: Canon LIPS プリンタへ印刷する場合、プリンタ本体の「優先エミュレー ションメニュー」を [LIPS] (LIPS モード)にする必要があります。設定方法な どについては、プリンタのマニュアルを参照してください。

- 1. root に su します。
- 2. lpadmin コマンドを使用し、プリンタの設定を行ないます。

lpadmin -p lbp850 -v /dev/null
lpadmin -p lbp850 -i /usr/lib/lp/model/netstandard

3. 次の lpadmin コマンドでは、使用する Axis プリントサーバのホ スト名を「lbp850」、使用する論理プリンタ名を「pr1」として います。通常、Axis プリントサーバのパラレルポート LPT1 に 出力する場合は「pr1」、LPT2 に出力する場合は「pr2」、シリア ルポート COM1 に出力する場合は「pr3」と入力します。AXIS 5400などのプリンタ直結タイプのモデルは「pr1」と入力します。

# lpadmin -p lbp850 -o dest=lbp850:pr1 -o protocol=bsd -o timeout:15			
(注意:ホスト名とプリンタ名の間にはコロン「:」が必要です)			
# lpadmin -p lbp850 -I None -T canon-ls-a408			
# accept lbp850			
destination "lbp850" now accepting requests			
# enable lbp850			
printer "lbp850" now enabled			
# lpstat -p lbp850 -1			
printer lbp850 is idle. enabled since 1998 年 12 月 10 日 (木) 21 時 45			
分 41 秒 JST. avai			
lable.			
Form mounted:			
Content types: None			
Printer types: canon-ls-a408			
Description:			
Connection: direct			
Interface: /usr/lib/lp/model/netstandard			
On fault: write to root once			
After fault: continue			
Users allowed:			
(all)			
Forms allowed:			
(none)			
Banner required			
Character sets:			
(none)			
Default pitch:			
Default page size: 170 wide 66 long			
Default port settings:			
Options: dest=lbp850:pr1, protocol=bsd			
#			

4. 次にテキストファイル印刷フィルタを登録します。

```
# cd /etc/lp/fd
# lpfilter -f jprconv -F jprconv.fd
#
```

5. ここまでの手順が終了すると、Canon LIPS プリンタから印刷で きるようになります。 その他のプリン プリンタタイプを設定することにより、以下のコントロールコード タについて をサポートするプリンタにも日本語テキストを印刷することがで きるようになります。詳細は Solaris 2.6 のマニュアルなどを参照し てください。

コントロールコード	プリンタタイプ
EPSON ESC/P (ESC/P24-J84)	epson-vp5058
NEC 201PL	nec-pr201

また、事前に UNIX 側でプリンタが処理できるようなデータ形式に ファイル (データ)を変換している場合は、ファイル内容形式 (-I): any、プリンタタイプ (-T): unknown と設定することにより印刷 できるようになります。

lpadmin -p < プリンタ名 > -v /dev/null
lpadmin -p < プリンタ名 > -i \ /usr/lib/lp/model/netstandard
lpadmin -p < プリンタ名 > -o dest=<Axis プリントサーバ >:< 論
理プリンタ名 > -o \ protocol=bsd -o timeout:15
lpadmin -p < プリンタ名 > -I any -T unknown
accept < プリンタ名 >
enable < プリンタ名 >
lpstat -p < プリンタ名 >-I
lp -d < プリンタ名 > /etc/hosts

6. 問題解決

ここでは、各環境で起こりうる問題(障害)とその解決方法につい て説明します。また、プリンタとプリントサーバの接続に関する問 題などについても説明しています。

6.1. LED (インディケータ) を利用した問題の切り分け

以下のような現象はAxisプリントサーバ本体の故障と思われます。

- LAN ケーブルを抜いても Network LED が点滅しつづける。
- Power LED が点灯しない

LED	状態	状態内容
Power	消灯	電源か本体に異常がありま す。
Network	0.3秒点灯·03秒消灯	本体に異常があります。
	1秒点灯·1.25秒消灯	本体に異常があります。

LED(インディケータ)には以下の機能があります。

6.2. NetWare 環境

- NDPS プリンタのステータスが「印刷エラー」になったり、IPX プロトコルを使用してセットアップした場合に、リストにプリ ントサーバが現れないといった現象が発生する場合は、HP JetAdmin パラメータの設定を Yes に設定してください(管理者 - 一般設定 - HP JetAdmin サポート)。
 - パラレルプリンタポートを利用していて、プリンタのオフラインや紙なしが頻繁に通知されて困る場合は、Axis プリントサーバ内の config ファイル中、L1_BSYTM (LPT1 ポートの場合)、L2_BSYTM (LPT2 ポートの場合)パラメータのデフォルトの60という値を、たとえば、255 に変更して試してみてください。それでもだめな場合は、0 に設定してください。0 にすると、ステータスの報告は無効になります。
 - Axis プリントサーバ内の config ファイル中、NETW_ENB パラ メータを NO に設定しても、Axis プリントサーバは定期的に SAP ブロードキャストをネットワークに流します。これは、 NetWare 環境において、AXIS NetPilot が Axis プリントサーバを 見つけられるようにするためです。この SAP を止めたい場合

NDPS 環境

は、config ファイル中、FR_802_3、FR_ETH_2、FR_802_2、 FR_SNAP パラメータをすべて NO に設定してください。

印刷ができなかったり、印刷が途中で止まったり、文字化けしたり する場合は、以下の点を確認してみてください:

- パラレルプリンタポートを利用している場合、プリンタとプリ ントサーバの間のパラレルインタフェースのタイミングが 合っていない可能性があります。Axis プリントサーバ内の configファイル中、L1_CENTR(LPT1ポートの場合)、L2_CENTR (LPT2 ポートの場合) パラメータをデフォルトの HISPEED 以 外の値、たとえば、IBM_PC や STNDRD に変更して試してみて ください。
- プリンタドライバが双方向通信をサポートしている場合には、 可能ならばプリンタドライバのプロパティで双方向通信を行 なわない設定にしたり、Axis プリントサーバ内の config ファイ ル中、PRx_IN パラメータ(xは、1~8)をデフォルトの AUTO から NONE に変更してみてください。
- 論理プリンタ5~8は、デフォルトで文字列置換の設定が施されています。これらの論理プリンタにプリンタドライバが生成したバイナリ形式のプリントジョブを送ると、文字化けが起きる可能性があります。論理プリンタ1~4を使ってみてください。
- ユーザーズマニュアル「第13章 テストボタン」の説明にしたがい、Axis プリントサーバの設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻し、AXIS NetPilot を利用してすべての設定を最初からやり直してみてください。
- 5. 新しいプリンタドライバがないか、使用している OS に対する 新しいパッチが出ていないか確認してください。
- 6. 可能ならば、他の Axis プリントサーバ、電源、プリンタと取り替えて試してみてください。

6.3. Windows 環境

Windows 95, Windows 98, Windows Me, Windows NT, Windows 2000, Windows XP 実際に印刷を行なった時、プリントジョブの状態がエラーになる場合は、もう一度「TCP/IP を利用して印刷する」の説明に戻り、プリンタ名またはキュー名を指定するところで、正しい印刷先のポートを入力しているかどうか確認してください。ここに、LP というような未定義の名前を指定すると、エラーになります。

(TCP/IP): 正しいプリンタ名・キュー名の指定方法は各 OS のセットアップページをご覧ください。の ARP を利用して IP アドレスを設定できない場合は、ARP を実行している Windows に 2 つ以上のインターフェース(例えば、Ethernet カードとモデムなど)が設定されていないかどうか確認してください。2 つ以上のインターフェース(アダプタ)が設定されている場合は、使用する IP アドレスが設定されているインターフェース(アダプタ)の TCP/IP へのバインドを解除することにより設定できるようになります。

Windows 95、
 Windows 98、
 Windows 98、
 Windows Me
 (NetBIOS/
 (NetBIOS/
 NetBEUI):

- AXIS Print Monitor をインストールした直後や Windows 95、 Windows 98 を再起動した直後にプリンタウィザードを起動し た時は、ウィザードで前の画面に戻り、少し待ってから次へ進 んでみてください。
- 2. ネットワークにログインしていることを確認してください。ロ グインしている場合も、再度、ログインし直してみてください。
- 3. Axis プリントサーバの電源を入れ直し、Windows 95、Windows 98 を再起動してみてください。HUB、MAUのポート、ネット ワークケーブル等に異常がないか確認してください。
- 4. Windows 95、Windows 98 のネットワーク環境が正しく設定されているかどうか確認してください。
- 5. NetBEUI プロトコルが使用可能であることを確認してください。Windows 95、Windows 98のコントロールパネル中のネットワークアイコンを開きます。表示される現在のネットワーク構成中に複数のプロトコル(TCP/IP と NetBEUI 等)が組み込まれている場合は、NetBEUI をダブルクリックして NetBEUI のプロパティ画面を表示します。詳細設定を選択し、標準のプロトコルに設定(Windows 95)、既定のプロトコルとして設定する(Windows 98)チェックボックスがチェックされていることを確認してください。

- NetBIOS/NetBEUI は仕様上、通常、ルータを超えるような通信 をすることはできません。したがって、Axis プリントサーバと Windows 95、Windows 98 の間にルータがあるようなネットワー クでは、Windows 95、Windows 98 から Axis プリントサーバを 認識することはできません。ただし、一部のルータでは、 NetBIOS/NetBEUI の通信が可能な機種もあるようですので、 ネットワーク管理者に確認してください。
- 7. テストプリントを実行し、Microsoft Networks and LAN Server/ LAN Manager のステータスが enabled になっていることを確認 してください。
- L記の操作・確認を行なっても AXIS Print Monitor から Axis プリントサーバが認識できない場合は、Axis プリントサーバ内の config ファイル中、NB_FR_TYPE パラメータをデフォルトの FR_AUTO から FR_802_2 に変更して試してみてください。
- Windows NT: 実際に印刷を行なった時、プリントマネージャ上、すぐに「予期し ないネットワークエラー」になる場合は、もう一度「プリンタをイ ンストールする」の説明に戻り、長い共有名を付けたり、共有名に 記号等を使用したりしていないか確認してください。
- Windows 95、
 印刷が途中で止まったり、文字化けしたり、再送されたりする場合

 Windows 98、
 は、以下の点を確認してみてください:

Windows Me、

- Windows NT、
 パラレルプリンタポートを利用している場合、プリンタとプリントサーバの間のパラレルインタフェースのタイミングが合っていない可能性があります。Axis プリントサーバ内のconfig ファイル中、Lx_CENTR パラメータ(web では管理者 一般設定 LPT1(LPT2) セントロニクスのタイミング)をデフォルトの HISPEED 以外の値、たとえば、IBM_PC や STNDRD に変更して試してみてください。
 - プリンタが PJL (Printer Job Language) をサポートしていなかっ たり、実装に制限がある場合は Lx_MGM_INFO (web では管理 者 - 一般設定 - LPT1 (LPT2) - プリンタ管理情報) を AUTO か ら DISABLE に変更して試してみてください。
 - パラレルプリンタポートを利用している場合、タイムアウトが 起きている可能性があります。Axis プリントサーバ内の config ファイル中、Lx_BSYTM パラメータ(web では管理者 - 一般設 定 - LPT1 (LPT2) - ビジーステータスを報告)のデフォルトの 60 という値を、もっと小さな値、たとえば、1 に変更して試し てみてください(0 にはしないでください)。
 - プリンタドライバが双方向通信をサポートしている場合には、 可能ならばプリンタドライバのプロパティで双方向通信を行 なわない設定にしたり、Axis プリントサーバ内の config ファイ ル中、PRx_IN パラメータ(x は、1~8。web では管理者 - 論

理プリンタの設定 - PR1 ~ 8 - リードバックポート)をデフォ ルトの AUTO から NONE に変更してみてください。

- 論理プリンタ5~8は、デフォルトで文字列置換の設定が施されています。これらの論理プリンタにプリンタドライバが生成したバイナリ形式のプリントジョブを送ると、文字化けが起きる可能性があります。論理プリンタ1~4を使ってみてください。
- ユーザーズマニュアル「第13章 テストボタン」の説明にした がい、Axis プリントサーバの設定を工場出荷時のデフォルト設 定に戻し、すべての設定を最初からやり直してみてください。
- 新しいプリンタドライバがないか、使用しているネットワーク カードや OS に対する新しいパッチが出ていないか確認してく ださい。特に Windows 2000 や Windows XP を使用している場合 は、使用しているネットワークカードのドライバが 2000、XP に対応しているか確認してください。
- 8. 可能ならば、他の Axis プリントサーバ、電源、プリンタと取り替えて試してみてください。

6.4. OS/2 環境

AXPU (AXIS Print Utility for OS/2) の Install をクリックした時、環 境によっては、ネットワーク上に接続されているAxisプリントサー バのプリンタポートが表示されない、または、表示されるまでに時 間がかかる場合があります。また、印刷時、AXPU のステータス ウィンドウに、No response と表示されてしまう場合があります。こ のような場合には、以下の点を確認してみてください:

- 1. AXPU の Status/Refresh をクリックする。Refresh コマンドは、 プリンタポートリストのステータス情報を更新します。
- 2. ネットワークにログインしていることを確認する。ログインしている場合も、再度、ログインし直してみる。
- 3. Axis プリントサーバの電源を入れ直した後に、AXPU を再起動 する。
- 4. HUB、MAU のポート、ネットワークケーブル等に異常がない か確認する。
- 5. OS/2 のネットワーク環境が正しく設定されているかどうか確認する。
- 6. NetBEUI プロトコルが使用可能であることを確認する。
- NetBIOS/NetBEUI は仕様上、通常、ルータを超えるような通信 をすることはできません。したがって、Axis プリントサーバと OS/2 の間にルータがあるようなネットワークでは、OS/2 から Axis プリントサーバを認識することはできません。ただし、一 部のルータでは、NetBIOS/NetBEUI の通信が可能な機種もある ようですので、ネットワーク管理者に確認してください。
- 8. テストプリントを実行し、Microsoft Networks and LAN Server/ LAN Manager のステータスが enabled になっていることを確認 する。
- 9. 上記の操作・確認を行なっても AXPU から Axis プリントサー バが認識できない場合は、Axis プリントサーバ内の config ファ イル中、NB_FR_TYPE パラメータをデフォルトの FR_AUTO か ら FR 802 2 に変更して試してみてください。

印刷が途中で止まったり、文字化けしたり、再送されたりする場合 は、以下の点を確認してみてください:

パラレルプリンタポートを利用している場合、プリンタとプリントサーバの間のパラレルインタフェースのタイミングが合っていない可能性があります。Axis プリントサーバ内のconfigファイル中、L1_CENTR(LPT1ポートの場合)、L2_CENTR(LPT2 ポートの場合) パラメータをデフォルトの HISPEED 以外の値、たとえば、IBM_PC や STNDRD に変更して試してみてください。

- プリンタが PJL (Printer Job Language) をサポートしていなかったり、実装に制限がある場合には Lx_MGM_INFO (x は 1 または 2) を AUTO から DISABLE に変更して試してみてください。
- パラレルプリンタポートを利用している場合、タイムアウトが 起きている可能性があります。Axis プリントサーバ内の config ファイル中、L1_BSYTM (LPT1 ポートの場合)、L2_BSYTM (LPT2 ポートの場合) パラメータのデフォルトの 60 という値 を、もっと小さな値、たとえば、1 に変更して試してみてくだ さい(0 にはしないでください)。
- プリンタドライバが双方向通信をサポートしている場合には、 可能ならばプリンタドライバのプロパティで双方向通信を行 なわない設定にしたり、Axis プリントサーバ内の config ファイ ル中、PRx_IN パラメータ(xは、1~8)をデフォルトの AUTO から NONE に変更してみてください。
- 論理プリンタ5~8は、デフォルトで文字列置換の設定が施されています。これらの論理プリンタにプリンタドライバが生成したバイナリ形式のプリントジョブを送ると、文字化けが起きる可能性があります。論理プリンタ1~4を使ってみてください。
- ユーザーズマニュアル「第13章 テストボタン」の説明にした がい、Axis プリントサーバの設定を工場出荷時のデフォルト設 定に戻し、すべての設定を最初からやり直してみてください。
- 7. 新しいプリンタドライバがないか、使用している OS に対する 新しいパッチが出ていないか確認してください。
- 8. 可能ならば、他の Axis プリントサーバ、電源、プリンタと取り替えて試してみてください。

6.5. Macintosh 環境

 Axis プリントサーバとプリンタの間が単方向接続されている 場合、つまり、双方向ではないパラレルインタフェースを持つ プリンタをパラレルケーブルで接続した場合、また、Axis プリ ントサーバ内の config ファイル中、PRx_IN パラメータ(x は、 1~8)をデフォルトの AUTO から NONE に変更した場合は、 フォントの制限を受けることになります。本来、Apple EtherTalk は双方向通信を前提としており、Macintosh からプリンタに対 してフォント情報等の問い合わせが行なわれれば、プリンタが その返答を行なうわけですが、プリントサーバとプリンタ間が 単方向接続されている場合は、プリンタが情報を返すことがで きず、代わりにプリントサーバが返答することになります。こ の時、プリントサーバはフォントに関して、「プリンタは何も フォントを持っていない」(Axis プリントサーバ内の config ファ イル中、ATK_FONT パラメータがデフォルトの DEFAULT に設

定されている場合)、あるいは、「プリンタはすべてのフォント を持っている」(ATK FONT パラメータが ALL に設定されてい る場合)の二種類の応答を返すことができます。また、プリン トサーバとプリンタ間が単方向の場合、PostScriptのレベルは1 と扱われ、解像度は 300dpi、1 ページ中の書体の数は 10 までと いう制限が加わる場合があります。一般的に、LaserWriter 8 ド ライバを利用した時、ATK FONT パラメータが DEFAULT に設 定されている場合は日本語 PostScript フォントは汚くギザギザ に印刷されますが、日本語 TrueType フォントは印刷可能です (ただし、300dpi、1 ページ 10 書体まで)。一方、ATK FONT パ ラメータが ALL に設定されている場合は日本語 PostScript フォ ントは綺麗に印刷されますが、日本語 TrueType フォントは Courier に化けてしまいます。この振る舞いは使用する OS の バージョン、LaserWriter のバージョン、使用するアプリケー ションやそのバージョン、プリンタ等により異なりますので、 実際にお試しください。

- セレクタで Axis プリントサーバのプリンタ名が見えない、また、見えにくい場合は、Axis プリントサーバ内の config ファイル中、ATK ZONE パラメータにゾーン名を設定してください。
- 画像が正常に印刷できない時等は、Axis プリントサーバ内の config ファイル中、BINARY_TYPE パラメータをデフォルトの TBCP から BCP に変更したり、BINARY パラメータをデフォル トの YES から NO に変更して ASCII 形式で印刷するようにし てみてください。
- 必要のないプリンタポートは、Axis プリントサーバ内の config ファイル中、ATYPE_x パラメータ(xは、1~3)を空欄にす ることによりセレクタから見えなくすることができます。ま た、名前が「_CFG」で終わるプリンタポートは、電源投入後、 1時間で見えなくなります。その場合には、プリンタ2、3を利 用して印刷するようにしてください。

印刷ができなかったり、印刷が途中で止まったり、文字化けしたり する場合は、以下の点を確認してみてください:

- パラレルプリンタポートを利用している場合、プリンタとプリントサーバの間のパラレルインタフェースのタイミングが合っていない可能性があります。Axis プリントサーバ内のconfigファイル中、L1_CENTR(LPT1ポートの場合)、L2_CENTR(LPT2 ポートの場合)パラメータをデフォルトの HISPEED 以外の値、たとえば、IBM_PC や STNDRD に変更して試してみてください。
- プリンタが PJL (Printer Job Language) をサポートしていなかっ たり、実装に制限がある場合には Lx_MGM_INFO (x は 1 また は 2) を AUTO から DISABLE に変更して試してみてください。

- パラレルプリンタポートを利用している場合、タイムアウトが 起きている可能性があります。Axis プリントサーバ内の config ファイル中、L1_BSYTM (LPT1 ポートの場合)、L2_BSYTM (LPT2 ポートの場合) パラメータのデフォルトの 60 という値 を、もっと小さな値、たとえば、1 に変更して試してみてくだ さい(0 にはしないでください)。
- 論理プリンタ5~8は、デフォルトで文字列置換の設定が施されています。これらの論理プリンタにプリンタドライバが生成したバイナリ形式のプリントジョブを送ると、文字化けが起きる可能性があります。論理プリンタ1~4を使ってみてください。
- 5. ユーザーズマニュアル「第 13 章 テストボタン」の説明にした がい、Axis プリントサーバの設定を工場出荷時のデフォルト設 定に戻し、すべての設定を最初からやり直してみてください。
- 6. 新しいプリンタドライバがないか、使用している OS に対する 新しいパッチが出ていないか確認してください。
- 7. 可能ならば、他の Axis プリントサーバ、電源、プリンタと取り替えて試してみてください。

6.6. UNIX 環境

印刷ができなかったり、印刷が途中で止まったり、文字化けしたり する場合は、以下の点を確認してみてください:

- パラレルプリンタポートを利用している場合、プリンタとプリントサーバの間のパラレルインタフェースのタイミングが合っていない可能性があります。Axis プリントサーバ内のconfigファイル中、L1_CENTR(LPT1ポートの場合)、L2_CENTR(LPT2ポートの場合)パラメータをデフォルトのHISPEED以外の値、たとえば、IBM_PCやSTNDRDに変更して試してみてください。
- プリンタが PJL (Printer Job Language) をサポートしていなかっ たり、実装に制限がある場合には Lx_MGM_INFO (x は 1 また は 2) を AUTO から DISABLE に変更して試してみてください。
- 3. パラレルプリンタポートを利用している場合、タイムアウトが 起きている可能性があります。Axis プリントサーバ内の config ファイル中、L1_BSYTM (LPT1 ポートの場合)、L2_BSYTM (LPT2 ポートの場合) パラメータのデフォルトの 60 という値 を、もっと小さな値、たとえば、1 に変更して試してみてくだ さい (0 にはしないでください)。
- 特にPROSを利用している場合、Axisプリントサーバ内のconfig ファイル中、PRx_INパラメータ(xは、1~8)をデフォルト の AUTO から NONE に変更してみてください。

また、System V 系 UNIX で PROS A の方法を利用する場合は、 PROSデーモンを生成する際、makefile中、LEAVE_PIPE_OPEN=-DALWAYS OPEN を指定してコンパイルしてみてください。

- 論理プリンタ5~8は、デフォルトで文字列置換の設定が施されています。これらの論理プリンタにプリンタドライバが生成したバイナリ形式のプリントジョブを送ると、文字化けが起きる可能性があります。論理プリンタ1~4を使ってみてください。
- 6. ユーザーズマニュアル「第 13 章 テストボタン」の説明にした がい、Axis プリントサーバの設定を工場出荷時のデフォルト設 定に戻し、すべての設定を最初からやり直してみてください。
- 7. 新しいプリンタドライバがないか、使用している OS に対する 新しいパッチが出ていないか確認してください。
- 8. 可能ならば、他の Axis プリントサーバ、電源、プリンタと取り替えて試してみてください。

6.7. その他

プリンタとの接
 IBM 社の特定のプリンタでは、特殊なセントロニクスインタフェースが採用されているため、そのままでは Axis プリントサーバを使用できない(テストページも印刷できない)場合があります。可能であれば、そのプリンタ用のプリンタケーブルを入手して試してみてください。

テストページが印刷できない場合、以下を確認してみてください:

- 1. プリンタケーブルを使用している場合、他のケーブルに取り替 えてみる。
- プリンタが、そのインターフェース (パラレルインタフェース、 シリアルインタフェース)からデータを受け付ける設定になっ ているか確認する。
- LPT1 または LPT2 ポートを使用する場合、ユーザーズマニュア ル「第 11 章 設定と管理」の説明にしたがって L1_CENTR、 L2_CENTR パラメータを変更してみる(たとえば、IBM_PC に 変更してみる)。また、プリンタ側にもパラレルインタフェー スに関する設定があれば、それを変更してみる。
- COM1 ポートを使用する場合、ユーザーズマニュアル「第11章 設定と管理」の説明にしたがってシリアルインタフェースに関 するパラメータ群 (C1_HNDSH、C1_BAUDR、C1_STOPB、 C1_PARIT、C1_NBITS)をプリンタ側のシリアルインタフェー スの設定と合わせる。

- ネットワークと の接続(イーサ ネット・ファー ストイーサネッ
 ・ 100BASE-TX のネットワーク環境では、カテゴリ 5 のネット ワークケーブルを使用することを推奨します。
 ・ ネットワークインディケータが断続的に点滅しない場合は、使 用しているネットワークケーブルを他のケーブルに取り替え てみたり、HUBを利用している場合は他のポートに替えてみた りしてください。
- ネットワークと
 初めて ping コマンドを実行する時は、通常よりも長く応答を待 の接続(TCP/
 の必要があるかもしれません。
 IP):
 ning コマンドがタイムアウトする場合は Axis プリントサーバ
 - ping コマンドがタイムアウトする場合は、Axis プリントサーバの電源を一度入れ直してから再び試してみてください。
 - arp コマンドを発行した時、「Network is unreachable」というようなメッセージが表示される場合があります。これは、設定している Windows (に付いているインターネットアドレスのネットワーク)から、Axis プリントサーバに付けようとしているインターネットアドレスのネットワークには到達できないことを表しています。ネットワーク管理者に相談し、適切なインターネットアドレスを指定してください。

問題解決